ハンドボール「第37号目次」

昭和41年10月号

〔表紙写真〕

第18回全日本総合選手権大会男子準決勝、芝浦工大対大阪イーグルス戦から

私のことば
″無″から″有″へ

佐賀県協会会長　渡部　保

佐賀県にハンドボール協会が誕生してまだ一年にもならない。つまり″ゼロ歳″の新生児である。協会を設立したのも、佐賀県当局の強い要請によるものである。スポーツはいろいろの種目があるが、佐賀県とハンドボールとの関係は全く浅い。第一、私はハンドボールの練習風景は見たが、公式試合を見たことがない。佐賀県民にしても、おそらく練習さえも見たことはないだろう。といって、そのままにしておくわけにはいかない。協会長を引き受けたからには、どんな障害を排除してでもハンドボールの普及に努力しなければならない。私はそう決心している。

現在、佐賀県でハンドボールを手がけているのは一校か二校ぐらいである。スタートを切ったばかりだから、これはやむをえないことである。どの県にしてもハンドボールを導入したときは、いずれこんな姿であったろうと思う。だから私は少しもヒケ目を感じていない。むしろ″無″から″有″を生じる喜びさえ感じているくらいだ。ゼロからスタートするのだから、やりがいがあるというものである。日本協会、九州各県協会、全国高体連、全日本実業団連盟の絶大なご支援を期待しているわけです。とくに全国高体連に期待することは大きいのです。県の高体連として密接な連絡をとりながら、近い将来において県下の高校総合体育大会の実施種目にとり入れてもらおうと考え、いま準備を進めているわけです。ハンドボールの普及は、まず高校チームから。私はそう確信しています。高校チームを基礎にして徐々に地盤を固め、やがては「佐賀県王国」を築く覚悟でいます。それが″夢″に終わらないように……。

私が校長をしている佐賀東高校は昭和38年に開校、ことしの3月初めて第一回の卒業生を送り出したばかりの新進高校です。この私たちの学校がハンドボールチーム第1号としてスタートしたのですから、各高校に呼びかけて第2、第3のチームをつくり上げたい。そして第1回高校大会を開き、第1回目の優勝を私のチーム（佐賀東高）がいただきたい。優勝旗はまだできていないが、私はこの″まぼろしの優勝旗″を目ざしています。

とにかく私はハンドボール界のために、1チームでも多くのチームをつくり、熊本、福岡、大分の各県と肩を並べる日が早くることを大きな夢としています。

＊　＊　＊

第6回男子7人制世界選手権大会

役員に馬場副会長ら5人

日本ハンドボール協会は9月27日ナショナルチーム候補選手28人と，来年1月スウェーデンで開かれる第6回男子7人制世界選手権大会の役員を次のように決めた。

ナショナルチーム 候補選手28人決まる

役員

氏名	所属	職業	出身校	年齢
馬場太郎	日本協会副会長	桃山学院大教授	日体大	65
村田弘	日本協会理事 大阪イーグルス監督	大阪府立 三国ケ丘高校教諭	日体大	42
勝繁夫	日本協会理事 立教大学監督	立教大学講師	立大	38
稲石三二	日本協会審判部員 名古屋市立桜台 高校監督	名古屋市立 桜台高校教諭	日体大	38
中沢重夫	日本協会理事 芝浦工大監督	芝浦工大助教授	芝浦工大	36

選手

	氏名	所属チーム	最終出身校	年齢	身長
GK	福本　弘	大崎電気	芝浦工大	26	172
〃	尾形　譲	立大	神代高	22	175
〃	高橋邦勇	埼玉教員	日体大	23	172
〃	竹下洋一	中大	徳山高	20	177
FP	吉金　勇	常盤工業	芝浦工大	22	163
〃	近藤信行	芝浦工大	名古屋桜台高	22	170
〃	関根邦夫	〃	神代高	21	165
〃	近森克彦	〃	徳山高	20	181
〃	山田　透	〃	名古屋桜台高	20	162
〃	安達精太	全立大	立大	25	177
〃	江名英彦	〃	立大	24	179
〃	木野　実	立大	寝屋川高	20	181
〃	北村文雄	〃	〃	20	170
〃	竹野奉昭	大崎電気	日体大	29	174
FP	北村尚英	大崎電気	芝浦工大	25	169
〃	井上素行	〃	新居浜工高	24	171
〃	金田純男	〃	中京商高	23	170
〃	青木義男	大阪イーグルス	日体大	26	175
〃	林　政弘	同志社大	東海高	22	168
〃	飯田誠行	〃	伏見工高	21	186
〃	飯端寿昭	関学	三国ケ丘高	21	184
〃	青木孝次	千代田印刷機	芝浦工大	25	179
〃	池田鉄哉	全神奈川	〃	23	168
〃	越智節生	宗形製作所	〃	25	178
〃	平岩　忠	全関大	関大	22	171
〃	北井晴次	埼玉教員	東京教大	22	175
〃	大西武三	東京教大	寝屋川高	20	175
〃	高橋　実	桜丘会	名古屋桜台高	18	171

日中国際親善ハンドボール大会

中国チーム来日

第1戦 芝浦工大の逆転勝ち

全国各地で9試合

中国男子チームの劉夫洪団長（中華全国体育総会委員）ら一行17人は日本ハンドボール協会の招きで9月15日夜、羽田着の日航機で来日した。中国チームは17日横浜文化体育館の対芝浦工大戦を皮切りに名古屋、静岡、大阪、神戸、京都、北九州、下松、東京で日本チームと対戦した。第1戦は中国が前半14—7とリードしたが、後半芝浦工大は速攻で中国を圧倒し、23—21で芝浦工大が逆転勝ちした。第2戦は中国が全愛知に快勝した。（詳報は11月号に掲載します）

◇第1戦（9月17日・横浜文化体育館）

芝浦工大 23（7—14 / 16—7）21 中国

◇第2戦（18日・愛知県体育館）

中国 24（12—5 / 12—9）14 全愛知

◇第3戦（20日・静岡県立草薙体育館）

中国 27（14—5 / 13—5）10 全静岡

▽交代 中＝劉延江、荊元崙▽愛高見（中京大）北川（中京大）堀（安城高教員）小鳥居（稲沢高教員）西尾（自営）以上FP、得点0

得	【芝工大】		【中国】	得
0	山村	GK	陳維政	0
0	伊藤	FP	曹俊鴿	0
11	近藤		朱炳亢	2
3	岩崎		楊霊藩	6
1	関根		胡亦成	0
2	山田		関香閣	0
3	近森		徐国其	0
3	竹内		王洪橋	2
0	小林		劉延江	8
0	檜森		鄧福宝	1
0	白神		ト憲章	2
23	（2）	7MT	（4）	21

▽交代 中＝李智連、荊元崙▽芝＝明石、高鍬（以上FP、得点0）

得	【全愛知】		【中国】	得
0	牧（中京大）	GK	陳維政	0
0	近藤（桜丘会）	GK	曹俊鴿	0
1	新（愛知紡）	FP	ト憲章	8
1	川島（東海電気）		楊霊藩	8
1	林（桜丘会）		関香閣	1
6	高橋（桜丘会）		王洪橋	2
1	安藤（中京ク）		朱炳亢	2
4	有本（自営）		李智連	1
0	小川（桜丘会）		鄧福宝	1
0	山田（桜丘会）		胡亦成	1
0	餅原（日本碍子）		徐国其	0
0	森田（中央電気）			
14	（2）	7MT	（2）	24

中国チーム

団長	劉夫洪
コーチ	陳梅全
医師	戦捷
通訳	江培柱
GK	陳維政
	曹俊鴿
FP	朱炳亢
	楊霊藩
	胡亦成
	関香閣
	徐国其
	王洪橋
	劉延江
	李智連
	鄧福宝
	荊元崙
	ト憲章

男子7人制（室内）を実施

1972年ミュンヘン五輪

国際ハンドボール連盟は9月2日コペンハーゲンで総会を開き、1972年のミュンヘン・オリンピック大会に男子7人制室内ハンドボールを実施することを決めた。また女子7人制については、同大会で実施するようミュンヘン大会組織委員会に要望することになった。このほか1968年度女子7人制世界選手大会をソ連で1969年度男子11人制世界選手権大会を西独で開催することに決めた。また1970年度男子7人制世界選手権大会は原則としてフランスで開くことを決めた。

【解説】 ハンドボールは1924年以降、オリンピック種目になっているが、1963年のベルリン大会で一度実施されただけ。ハンドボールはドイツが発祥地だけに、ミュンヘンでオリンピック開催がきまっときから復活しようとする動きがIOC（国際オリンピック委員会）内にあり、9月、マドリードでひらかれたIOC総会で復活が正式にきまった。

このため同連盟では、まず男子7人制を実施することをきめたが、女子も実施したい意向が強く、同大会組織委員会に要請することになったもの。これはボールゲームのばあい16チームが参加できることになっているので、東京大会のバレーボールと同じ方式（男子10、女子6チーム）で男女種目の実施を考えているものとみられる。

× ×

ヤルダ君帰国

7月上旬来日したチェコスロバキアの通訳、ヤロスラフ・プシブラムスキーことヤルダ君は2カ月の滞在を終えて9月9日横浜出港のバイカル号でシベリア経由帰国した。8月22日には浦和市で開かれていた全日本総合選手権大会を観戦した。

第18回全日本総合選手権大会

大崎電気(女子)が2度目の優勝

男子は全立大が初優勝

8月・浦和市

第18回全日本総合ハンドボール選手権大会は8月21日から25日まで埼玉県浦和市立高校グラウンドで開かれた。第1日（21日）第2日（22日）は雨のため浦和市高体育館と芝浦工大大宮校舎の体育館を併用した。男子は準決勝で3連勝をねらう大崎電気（埼玉）が全立大（東京）に完敗し、決勝は全立大、芝浦工大（東京）の間で争われた。全立大は速攻、遅攻を織りまぜて芝浦工大を圧倒し、初優勝を飾った。女子は大洋デパート（熊本）対大崎電気（埼玉）の決勝となり、大崎電気がすばらしい試合を展開して大洋デパートの2連勝をはばみ、一昨年の第16回大会に次いで2度目の優勝をとげた。

女子決勝　大洋デパート敗れる

大崎電気 12（8－1 / 4－3）4 大洋デパート

「レフェリー」佐野（教大出）

得	大崎		大洋	得
0	川崎	GK	山口	0
0	古谷	GK	小原	0
3	笠原	FP	新保	1
3	早川	FP	中村	0
0	宇井	FP	高山	0
2	黒川	FP	射場	1
4	鈴木	FP	今村	1
0	堀	FP	枝尾	1
0	加藤	FP	稲田	0
0	小林	FP	木原	0
0	木幡	FP	垂水	0
12（0）		7MT		（0）4

〔評〕　1点を争う接戦を予想していたが、後半大崎の猛攻で12－4と8点差がついてしまった。前半は慎重になりすぎて1点を争ったが、後半の大崎はシュートすればおもしろいようにゴールインする。一方、大洋は打てども打てどもゴールインしない。大崎GK川崎の好守もあったが、ゴールポストに当たったり、大崎ディフェンスに止められたりして全く気の毒だった。大洋のエース新保は必死になってゴールをねらったが、実を結ばなかった。

大崎は前半3分、加藤からのパスを受けた鈴木が右45度の地点からジャンプパス、これがゴール右上に突き刺さるように決まった。大崎も大洋も動きはそれほどよくなかった。それに試合開始早々なので、デイフェンスも堅く、互いにゴール前でのローリングを続けるだけ。リードされた大洋は4分射場がゴール中央からアンダーシュートを決めた。これで1－1。9分大崎はフリースローでポイントに立った鈴木のパスを、早川がゴール中央からワンバウンド・シュートして2－1とリード。大洋も14分に追いついた。新保がポストに立っていた今村にすばらしいパスを通し、今村があざやかなポストプレーで2－2。このあと大崎は15分、ローリングから黒川がきれいなリターンパス、これを鈴木が右45度からゲットして3－2。

大洋もすぐ反撃し、16分新保が中央からジャンプシュート、GK川崎はこれを止めた。だが手先だけで止めたため、球勢に押されてポロリと落とし、これがゴールインし大洋にとっては幸運な1点。ゲームはおもしろくなった。速攻の応酬、GKはよく守った。しかし18分大崎にも幸運な1点が…。笠原が右45度からシュート、GKはこれを止めたが、これをボールのスピードに押されてこぼし、ゴールインしてしまった。これで大崎が4－3とリードし、そのまま前半を終わった。

前半はとにかくおもしろい試合だった。このぶんなら後半もかなり接戦すると思った。後半2分大崎は早川がジャンプシュートして5－3。このシュートは大洋GKとしては、取れないコースではなかった。もしこのシュートを止めていたら……と思った。試合終了後、大洋の井監督は「この早川の

1点は痛かった」と話していたほど。差は2点。ことしの大洋は昨年と違って速攻にうま味があり、セットプレーもいい。だからこの2点差はそれほどの負担とは思えなかった。しかし後半になってからの大洋は肝心なところでパスミスが多く、セットを組んでもタイミングが合わず、それにスピードが急に落ちた。

ここを勝負どころとみた大崎はカットをねらい、速攻を展開した。6分、7分に鈴木がノーマーク・シュートを決めて7—3とした。鈴木のカンのよさである。大洋は7分30秒に枝尾がフリースローラインからロングシュートした。実に見事な一投だった。大崎は8分早川がゴール中央から豪快なジャンプシュートして8—4としダブルスコア。こうなると大崎は走りまくり、思うぞんぶん打って出た。一方大洋はこの大崎の猛攻に手がつけられず、どうすることもできなかった。なんとかして大崎の攻撃をはばもうとし、プレーが荒くなった。シュートしてもはいらず、明らかにあせりがみえた。16分には木原、10秒後に新保が2分間退場し、大洋は4人で大崎に対するという試合ぶり。勝負は後半8分でついたといっていい。

大崎の勝利はチームワークが最大の因。それにことし新人を補強し、選手層が厚くなり、選手が精神的に余裕を持ったことである。ただ気になるのは、ゴール前での動きが相変わらず多すぎる。もっと個人プレーを生かしたらいいのではないか。大洋はキャリアの差で負けたといっていい。好選手がそろっているから国体、全日本選抜がたのしみ。

男子決勝

光る江名のプレー

全立大 21（9—8 12—6）14 芝浦工大

「レフェリー」岡村（教大出）

得	全立大		芝浦	得
0	尾形	GK	山村	0
5	木野	FP	近藤	3
3	東	FP	岩崎	3
0	北井	FP	関根	0
4	北村	FP	片山	0
4	野田	FP	山田	2
0	藤城	FP	近森	5
0	小野口	FP	竹内	1
0	倉前	FP	小林	0
5	江名	FP	白神	0
21	（4）	7MT	（2）	14

〔評〕芝浦は得意の速攻が出ず、これが最大の敗因。それでも前半は追い上げて9—8と1点差に詰め寄ったが、後半北村、江名の好打で振り切られてしまった。これに反して全立大は、OBの江名の好プレーが断然光った。もし江名の活躍がなかったら、苦戦していたにちがいない。さすがは江名である。前日の対大崎電気ではそれほど目だたなかったが、これも全立大ベンチの作戦だったかもしれない。

全立大の勝因は江名の好打もあるが、速・遅攻をうまくミックスさせたこと。またこの日の速攻は芝浦のおハコを完全に奪ったことである。全立大といっても、OBは江名ただ一人。だから関東学生リーグ、全日本学生選手権に次いで三度目の顔合わせ。つまり互いに手の中を知り尽くしている。その中で全立大に江名が一人加わったというわけ。

試合はまず5分、芝浦のフリースローで、ポイントに立った近森のパスを受けた竹内がアンダーシュートを決めた。全立大もすかさず木野のアンダーシュートで1—1。激しい攻防戦が続いた。7分全立大は野田が7MTを決めると、芝浦もきれいなリターンから岩崎がゲットして2—2。9分芝浦が近藤の右サイドからのアンダーシュートでリードすれば、全立大は10分木野がフェイントをかけて芝浦ディフェンスを割り、ゴール中央がガラあき。木野、ミドルを決めて3—3。このあたり1点を争うシーソー・ゲームとなった。

12分全立大は東が7MTを決め、15分に江名が右へフェイントをかけながら左サイドにいた東に絶妙なバックパス。これを東が決めた。江名ならではのファインプレー、これで全立大は5—3とリード。芝浦も15分30秒に近森の豪快なロングシュートで5—4と1点差にした。このあと、しばらく小康状態が続いた。20分全立大は左サイドぎりぎりから江名の好シュートで6—4、芝浦も21分岩崎のあざやかなポストプレーで6—5とした。この岩崎のポストプレーは前からねらっていたもの。追いつ追われつの試合を展開した。

全立大は激しく攻め込み、23分幸運な1点をあげた。芝浦GKの山村がパスアウトしようとして、ポロリとボールを落とした。これを見た木野はすばやくこのボールを拾ってゲットした。このあたり全立大はツイていた。24分にも木野が中央からミドルを決めて8—5。芝浦も必死に反撃し26分近藤が7MTして8—6。27分全立大は野田のポストプレーで9—6。芝浦は28分30秒に近森のジャンプシュート、29分にも近森がフリースローから一気にジャンプシュートし、9—8と1点差に追いついて前半を終わった。

芝浦は左サイドに山田、右サイドに関根、右45度に近藤、ポストに岩崎を配置したが、この日はこれが実を結ばない。芝浦ベンチは近森のロングに切り替えた。これは前半終了間ぎわに成功した。

後半になると、全立大は江名が好プレーをみせた。2分左サイドから、次いで3分にも。5分30秒には中央から、8分にもゲットして全立大が14—9と5点差。この6分間にみせた江名のプレーはファンをうならせた。からだを左へ倒し、左足に重心をのせながらディフェンスの合い間をねらってのシュート。これは実に見事だった。芝浦は近森にボールを集め、ロングを打たせた。14分にロングを、15分に7MTを決めて14—11と3点差にした。全立大は早くも逃げ込みにはいり、両サイドを使ってのパスで時間をかせぐ。芝浦は16分山田が左からミドルを決めて14—12と2点差に追いついた。

全立大はあわてて遅攻から速攻に切り替えた。北村、野田の活躍で26分には19—13と6点差をつけて安全圏にはいった。この6点差で完全に勝負がついた。

浜田立大OBの話 うちの選手はよく走った。芝浦の選手よりもよかった。それに速攻、遅攻をうまく使い分けたのも勝因といえる。江名がうまいプレーをみせたので、後輩もファイトを出したと思う。

中沢芝浦工大監督の話 速攻のチームは速攻に弱いとされていたが、きょうのうちのチームはそのとおりになった。あすから出直す。

女子準決勝 大洋、日体大に勝つ

大洋デパート 14（8－2 / 6－6）8 日体大

「レフュリー」清水（日体大出）

得	大洋		日体大	得
0	山口	GK	明神	0
0	小原	GK	小野里	0
6	新保	FP	田井	2
1	中村	FP	北村	2
2	高山	FP	北口	2
1	射場	FP	津田	2
1	今村	FP	原	0
3	枝尾	FP	川口	0
0	稲田	FP	小野塚	0
0	木原	FP	強矢	0
0	垂水	FP	隈	0
14（0）		7MT		（1）8

〔評〕 大洋の勝ちは順当だが、後半みせた日体大の反撃はすばらしかった。女子学生チームの力は高校生以下といわれていたが、ここ一、二年の日体大は実業団に堂々とたち打ちできるところまできたのはほめていい。学生チームの今後がたのしみ。

試合はまず前半、大洋のペースに終わった。このぶんなら大洋の圧勝と思ったほど。エース新保を中心に高山、枝尾、中村らがよく走った。とくに新保は昨年の世界選手権に参加してから急速に伸びた選手。最初の1点は新保があげた。前半1分左45度からアンダーシュート、きれいに決まった。2分には高山が同じ左45度から決め、5分には新保が今度は右45度からランニング・シュート。日体大は全く手が出ない。

いままでの大洋だと、フリースローのときの得点が多く「フリースローの大洋」といわれたほどだ。ことしの大洋はちがう。走って打ち、打っては走る。6分にはGK山口のすばらしいボール出しを新保が中継し、これを受けた枝尾が右サイドから決めて4－0。12分には枝尾がゲット、14分には中村が右45度から、15分には中村－今村とわたり、今村のポストプレー、16分には高山のワンバウンド・シュート。得点は8－0と大洋のワンサイド。大洋の猛攻に日体大は全く手が出なかった。17分30秒やっと北村が右45度から決め、タイムアップ寸前には大洋ゴール前のルースから、北村がこぼれ球を拾ってゲットして2点目をあげた。

後半は日体大が先手を取った。前半とは打って変わってスピードを出し、1分田井が中央からロングを決め、2分には北口がゲットした。4分に田井、7分に津田がシュートして反撃した。後半7分のスコアは9－6と大洋が3点リード。このあと大いに日体大の善戦が期待されたが、大洋はペースを取り戻して日体大を突っ放した。大洋は走り、そしてセットを組むと激しく動き回って日体大ディフェンスをくずしてしまった。

大洋はゴール前でのパスワークが確実であり、細かいプレーをみせた。この動きに日体大はついていけなかった。それにしても6点をあげた新保のプレーはすばらしかった。

優勝チーム一覧表

	男子	女子
第1回	日体桜	愛知ク
第2回	スワロー松	オール山梨
第3回	スワローク	芙蓉ク
第4回	セントポールA	中止
第5回	全日体大	全静岡城北高
第6回	全日体大	全静岡城北高
第7回	西日本日体OB	水海道二高
第8回	全日体大	半田高
第9回	全日体大	愛知紡
第10回	全日体大	愛知紡
第11回	芝浦工大	愛知紡
第12回	芝浦工大	愛知紡
第13回	芝浦工大	愛知紡
第14回	大崎電気	愛知紡
第15回	立大	大洋デパート
第16回	大崎電気	大崎電気
第17回	大崎電気	大洋デパート
第18回	全立大	大崎電気

大洋デパート対日体大戦から

女子準決勝 田村紡、大崎に惜敗

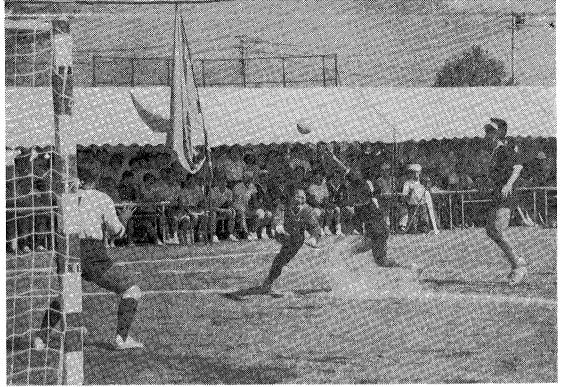
大崎電気 8（4－2 / 4－4）6 田村紡

「レフェリー」佐藤（教大出）

〔評〕 この試合はおもしろかった。あるていど予想はしていたが、大崎のすばらしいプレーに田村紡は委縮してしまった。大崎としても昨年12月の全日本選抜選手権で惨敗、全日本実業団大会に苦戦していらいの全日本大会なので、どんなプレーをするか大きな興味があった。大崎は半年間、猛練習に次ぐ猛練習。したがってこの試合は、どちらが走り勝つかが勝負のカギとなった。ところが前

女子準決勝，大崎電気対田村紡戦から

田村紡	得		大崎	得
渡辺美	0	GK	川崎	0
坂上	0	GK	古谷	0
種村	0	FP	笠原	1
渡辺好	0	FP	早川	1
水谷	0	FP	宇井	0
小林	4	FP	黒川	0
内藤	2	FP	鈴木	4
清水	0	FP	堀	2
長谷川	0	FP	加藤	0
渡辺信	0	FP	小林	0
信藤	0	FP	木幡	0
	6	（3）7MT（2）		8

半10分までは両チームとも堅くなった。いつもの速攻が出ないしセットにこだわりすぎていた。

試合はまず大崎が得点した。3分7MTのチャンス。大崎はすぐ7MT要員の堀（静岡城北高出）を出して1—0とした。昨年までの大崎だとコマ不足のため、こんな場面はなかった。ことしは選手をじゅうぶん補強した。これがやっと実を結んだといっていい。大崎は9分に早川が2分退場してピンチ。田村紡はすかさず攻めて出た。9分30秒大崎ゴール前のルースから内藤がシュート。大崎ディフェンスは手を伸ばして防いだが、これが大崎の選手の手に当たり、田村紡にとっては幸運な、大崎にとっては不運なゴールイン。GK川崎はくやしがった。手に当たらなければ川崎が押えていたことだろう。スコアは1—1。

10分をすぎると大崎はやっと動きがよくなった。田村紡はこの動きにふり回された格好。14分早川が左45度からワンバウンド・シュート、15分堀が再び7MTを決めて3—1。16分には鈴木がカットに成功し、左サイドからノーマーク・シュートして4—1と3点差。田村紡は必死に反撃し、18分小林が7MTを決めて前半4—2。

後半も大崎が先手を取った。1分早川が田村ボールをカットして鈴木にパスした。鈴木は独走して見事に決め5—2。4分鈴木が2分間退場すると同時に、田村は内藤の好打で5—3。6分にはGKのうまいパスアウトから小林が持ち込み、7分にはまたも小林が7MTを決めて5—5とタイスコア、試合はふり出しに戻った。勝負はここから……。

互いに速攻の応酬。かと思えば、相手陣内に鋭く突っ込んでの攻撃。こうせり合ってくると、勝負度胸のある鈴木（大崎）のプレーが注目される。果たせるかな、鈴木は12分に左サイドからワンバウンド・シュート。これがゴール右すみに決まり再び大崎が6—5とリード。14分には小林が田村ディフェンスのホールディングにありながらも（オーバーステップのように見えた）左サイドにいた笠原へパスした。笠原はボールを受けるや倒れ込むようにしてシュート。7—5。

田村は必死に反撃。コートいっぱいにボールを回して大崎ディフェンスをゆさぶろうとしたが、大崎は田村のこの作戦を見抜いてその手に乗らず。18分に大崎は鈴木が右サイドからワンバウンド・シュートして8—5と3点差にした。残り時間2分では田村といえども3点は不可能。それでも田村は食い下がる。19分田村紡は小林が7MTを決めてその差2点としたが、時すでにおそくホイッスル。

この試合、大崎の鈴木、田村紡の小林のプレーはよかった。田村紡としては泣くに泣けない敗戦だが、あまりにも慎重になりすぎたのではないか。

男子準決勝　芝浦工大 楽勝

芝浦工大 35（18—10 17—7）17 大阪イーグルス

「レフェリ」佐野（教大出）

〔評〕芝浦工大の勝利は順当とはいえ、大阪イーグルスの善戦も実に見事だった。芝浦のスピード、イーグルスのゴール前における細かいプレーは、ファンを完全に魅了したといっていい。ハンドボールにとってスピードがいかにたいせつであるか。またゴール前でのバックパス、フェイントパス

チヨダは印刷機材の合理化を推進する総合メーカーです。

営業二課／栗田満夫

パーフェクトは夢の印刷機（全自動）です。
超薄紙から厚紙まで、忙しい人手の足りない工場に大好評。

営業一課／庄司政雄

パーフェクトはたくさんの賞賛の言葉をいただきました。よい製品をつくる励みになります。

営業三課／打林行夫

本社新社屋

新製品 **パーフェクト** 全自動B四截凸版印刷機

千代田印刷機製造株式会社
千代田印刷材料製造株式会社

本　社　東京都千代田区神田猿楽町１－４　TEL 東京(292) 2011 (代) ～8
横浜支社　横浜市西区高島通り１－７　TEL神奈川(045) 44－6572・7358・7028
福岡支社　福岡市御供所町３番16号（聖福寺前）　TEL 福岡 (28) 3960・0153
立川工場　東京都昭島市東町１丁目１番地５号　TEL 立川(0425) 2－2470・4383
九州工場　佐賀県小城郡牛津町（牛津駅前）　TEL 牛津 72

横浜支社

得	芝浦		大阪	得
0	山村	GK	島崎	0
0	伊藤	GK	光島	0
10	近藤	FP	山本	0
0	岩崎	FP	丸岡	3
6	関根	FP	東	0
0	片山	FP	井上	1
7	山田	FP	青木	6
5	近森	FP	北岡	0
3	竹内	FP	加藤	2
3	小林	FP	松尾	4
1	白神	FP	山崎	1
35	(1)	7MT	(3)	17

が相手のディフェンスをゆさぶる

男子準決勝、芝浦工大対大阪イーグルス戦

のにいかに必要であるかを見せてくれた。若さの芝浦、ベテランのイーグルと対照的ではあるが、それぞれに持ち味があって非常によかった。ベテラン井上、東のプレーは、若い芝浦の選手にとって大いに学ぶべきところがあったのではないか。

それにしても芝浦の攻撃力はものすごかった。試合開始30秒にして近藤が右45度から低めのワンバウンド・シュートして先取点をあげた。芝浦の早い動きにイーグルスもよくついていったが、やはり芝浦の若さがものをいう。3分関根、4分近森、4分30秒関根、5分20秒近藤、7分関根のポストプレー、9分山田の矢継早やに得点して7−0と一気にイーグルスを引き離した。全くの芝浦のペースである。イーグルスは10分にやっと得点した。フリースローでポイントに立った井上がいきなりシュート、これがゴールインした。このあと互いに得点し合ったが、前半終了近くに芝浦は連続ゲットして17−7。これでほとんど勝負がついたといっていい。イーグルスは松尾、青木ががんばった。芝浦の現役に比べて年齢的なハンディがあったにせよ、現役顔負けの激しい動きと闘志をみせた。

後半は芝浦が1分に近藤のロングシュートで先行。するとイーグルスも青木のゲットで返した。4分をすぎるころから激しい攻防戦を展開した。芝浦が得点すれば、イーグルスもすぐ反撃して得点するといった経過をたどった。20分をすぎると、やはり芝浦の若さがものをいった。21分から27分までに小林、近森、竹内、白神らが7点をあげてイーグルスの反撃を完全に断ち切った。

男子準決勝 大崎電気完敗

全立大 24（9−4, 15−4）8 大崎電気

「レフェリー」岡村（教大出）

得	大崎		全立大	得
0	福本	GK	尾形	0
0	下里	GK	川口	0
0	田口	FP	木野	6
0	宮原	FP	東	3
0	北村	FP	北井	3
0	金田	FP	北村	5
3	井上	FP	野田	5
3	竹野	FP	藤城	1
0	小谷内	FP	小野口	1
2	西村	FP	倉前	0
0	坂野	FP	江名	0
8	(2)	7MT	(2)	24

▽反則退場者　北村（大崎）

〔評〕前半の9−4はともかく、後半全立大に思うぞんぶん打ちまくられた大崎のみじめな敗けっぷりは寂しかった。3連勝をねらう大崎がこんな負け方をしたのは、若手の伸び悩みが大きな原因といえる。いつまでも竹野、宮原、田口にたよっているようではダメ。このへんで若手に切り替えて再スタートしてもらいたい。チームを切り替えるときは、多少戦力が落ちる。それはしかたのないことで、来春の補強が待たれる。

それにしても全立大のものすごい破壊力には驚いた。木野、東、北井、北村、野田、藤城らの大型選手はいずれも平均した得点力を持っている。これが強味。長身ぞろいなのでディフェンスに回ったときは壁が厚い。さすがの大崎も手の打ようがなかった。全立大はセットを得意としていたが、この試合を見るとセットどころか速攻のすばらしさに驚く。速・遅攻を武器にすれば強いはずである。全立大には安達が抜けていた。もし安達がメンバーに加わっていたら、その攻撃力はさらに増したことだろう。それほど全立大のプレーはすごかった。

この日の大崎は竹野のロングにたよるのみ。これも全立大の厚い壁にはばまれたり、GK尾形の好守に止められていた。これでは勝てない。井上もよくやった。北村がこのところ少しも冴えない。これはどうしたことか。西村が走りまくって2点をあげたのは、ほめられていい。後半は全立大の攻撃に手が出ず、完全に走り負けていたのは事実である。大崎には「王者の貫録」が全くなかった。

東軍勝つ

◇第16回全日本学生選抜東西対抗
（9月18日・愛知県体育館）

東　軍 26（13−10, 13−12）22 西　軍

東軍の9勝7敗。

全日本総合選手権女子記録

昭島ク勝つ

▽1回戦

昭島ク 15（8—2 / 7—4）6 深谷女高
（東京）（埼玉）

〔評〕昭島クはレナウン東京のメンバーであり、一年ぶりの登場である。スピーディな試合運びだったが、深谷は単調なセットからのボール回しを昭島にカットされ、これが得点に結びつけられた。後半昭島は寺島のロングで楽勝したが、パスワークがあまりよくなかった。

東京重機 19（8—1 / 11—5）6 熊谷商高
（神奈川）（埼玉）

〔評〕重機の一方的な試合。熊谷はディフェンスの荒い重機の攻撃を考えれば、もう少し善戦できたと思う。

日体大 18（10—0 / 8—2）2 小山城南高
（東京）（栃木）

〔評〕城南は日体大のゴール前まで攻めるが、動きがピタッと止まってしまう。これでは勝てない。日体大はスピードを生かして勝った。

大崎電気 21（9—0 / 12—0）0 栃木女高
（埼玉）（栃木）

〔評〕大崎のワンサイドに終わった。昨年の大崎とは見違えるようなすばらしいプレー。速攻でもセットでも著しい進歩のあとが見えた。インターハイで3位の栃木女高は全く手が出なかった。それでも最後まで試合を捨てずに戦かったのはりっぱである。

愛知紡 14（9—6 / 5—1）7 清水女高
（愛知）（静岡）

〔評〕清水は中沢、藤原の好打で前半よくがんばった。後半疲れが出て遅攻に切り替えたのが敗因。愛知は自分のペースで試合をした。

三菱鉛筆 19（9—0 / 10—2）2 浦和市高
（東京）（埼玉）

〔評〕浦和はパスを三菱にカットされて速攻を許してしまった。三菱は三井田、落合が好打して大勝した。

田村紡 18（11—5 / 7—4）9 大分府内ライオンズ・ク
（三重）（大分）

〔評〕大分は全員がよく走ったが、田村のスピードには勝てなかった。個人技を見ると、大分の方がうまい。大分はクラブチームであるが、よくコンビがとれ、最後まで息切れしなかったのは大いにほめていい。国体がたのしみ。

大洋デパート勝つ

▽準々決勝

大洋デパート 18（8—4 / 10—3）7 昭島ク
（熊本）

得	大洋		昭島	得
0	山口	GK	柿沼	0
0	小原		渡辺	0
4	新保		竹本	3
4	中村		新山	0
5	高山		山田	0
1	射場	FP	宇多	3
2	今村		寺島	1
2	枝尾		門間	0
0	稲田		石井	0
0	木原		須崎	0
0	垂水			
18	（1）	7MT	（2）	7

〔評〕大洋は新保を中心に高山、中村らが好打して勝った。ことしの大洋は速攻、遅攻ともうまみを増したのが注目される。とくに新保のスピードある攻撃はすばらしい。昭島は竹本、宇多ががんばったが、大洋の厚いディフェンスにチャンスをはばまれた。

斎藤（重機）8点あげる

日体大 16（7—6 / 9—4）10 東京重機

得	日体大		重機	得
0	明神	GK	高野	0
0	小野里		川本	0
4	田井		斎藤	8
1	北村		能登	0
5	北口		山崎	1
5	津田		西山口	0
0	原	FP	鷺谷	0
1	川口		畑岡	0
0	小野塚		佐原	0
0	強矢		飯田	0
0	隈		山口	1
16	（1）	7MT	（5）	10

〔評〕前半は日体がカットインで得点すれば、重機も速攻をみせて接戦となった。後半重機の疲れに乗じて日体大は北口、津田の好打で勝った。

すばらしい大崎電気

大崎電気 24（13—3 / 11—6）9 愛知紡

得	大崎		愛知	得
0	川崎	GK	尾崎	0
0	古谷		山下	0
2	笠原		小林	1
1	早川		黒木	1
2	宇井		五十嵐	0
3	黒川		小野	0
8	鈴木	FP	関口	3
0	木幡		高橋	1
6	堀		近藤	0
2	加藤		鏡	0
0	小林		前田	3
24	（9）	7MT	（3）	9

〔評〕40分の試合時間に24点をあげる大崎の攻撃、これはりっぱなものだ。1分36秒に1点の計算である。大崎の堀（静岡城北高）は7MT要員だが、この日も10割の6点をあげる活躍をみせた。

田村紡勝つ

田村紡 14（8—1 / 6—3）4 三菱鉛筆

〔評〕田村は早い動きで三菱のディフェンスをゆさぶり、ポストプレー、カットインなどで加点した。三菱の攻撃は単調、しかも突っ込みがなかったのでどうすることもできなかった。

得	三菱		田村	得
0	吉田	GK	渡辺美	0
0	林		坂上	0
0	三井田		種村	2
0	鈴木		渡辺好	7
0	佐々木房		水谷	1
3	落合		小林	2
0	佐々木洋	FP	内藤	1
0	藤盛		清水	1
0	遠藤		長谷川	0
1	江川		甲林	0
0	蓮見		吉開	0
4	（0）	7MT	（3）	4

全日本総合選手権男子記録

千代田、宗形敗れる

▽1回戦

常盤工業（岐阜）27（14―7、13―11）18 中京大（愛知）

〔評〕前半10分まで3―3と接戦。常盤は中京大のパスをカット、一気に持ち込む作戦が成功した。中京大のディフェンスはあまりよくなかった。

法大（東京）20（12―8、8―3）11 埼玉教員（埼玉）

〔評〕埼玉は善戦したが、後半動きが鈍く、コンビネーションがくずれてしまった。法大はポストプレー、ロングを生かして埼玉を圧倒した。

関学（兵庫）14（7―5、7―6）11 千代田印刷（東京）

〔評〕両チームともボール回しが多く、シュートミスもあって凡戦。飯端（関学）青木（千代田）の打ち合いがおもしろかった。関学は総合力で千代田よりもすぐれていた。

同志社大（京都）25（11―4、14―9）13 大分クラブ（大分）

〔評〕同大は大分の甘いディフェンスをついて、ポストプレー、ミドルシュートで加点した。大分は横パスが多く、シュートも単調だった。

中大（東京）21（8―7、13―2）9 住友化学菊本（愛媛）

〔評〕前半互角の試合。後半になると住友は疲れが出てミスが多く、中大の速攻を許してしまった。

星友会（京都）13（7―7、6―4）11 明大（東京）

〔評〕明大は後半19分堀のゲットで12―11と1点差にしたが、23分竹口（星友会）に打たれて敗れてしまった。明大は7MTを4本落としたのが敗因。

大阪イーグルス（大阪）28（11―5、17―9）14 全広島商大（広島）

〔評〕イーグルスは青木、北岡、加藤らの好打で楽勝。広島商大は市原（元大崎電気）が7点をあげてがんばった。

全立大（東京）22（10―3、12―2）5 西南学院大（福岡）

〔評〕全くの凡戦。西南がスローオフ後、2本の7MTを落とせば、全立大もパスミス、シュートミスが目だった。結局はキャリアの差で勝負がついた。

日体大（東京）22（12―6、10―4）10 本田技研（三重）

〔評〕速攻の応酬でおもしろかったが、総合力ですぐれている日体大が徐々に点差をあげていった。

新潟教員ク（新潟）（没収試合）大阪経大（大阪）

〔評〕前半13―8と大阪経大がリードしたが、大阪経大に未登録選手がいたため没収試合となった。

関大（大阪）20（10―6、10―11）17 桜丘会（愛知）

〔評〕練習量の差で関大が勝った。桜丘会は山田、森田、新、川島らの芝浦工大出をそろえたが、練習不足から呼吸が合わなかった。

滴水会埼玉（埼玉）26（14―8、12―9）17 東北大（宮城）

〔評〕前半15分まで接戦を展開。滴水会は東北大のパスをカットしたり、GKのパスアウトから右サイドを攻めて勝った。試合途中で雨となり、気の毒だった。

東京教大（東京）17（6―6、11―9）15 宗形製作（大阪）

〔評〕宗形はディフェンスの当たりが強く、それによく走っていた。セットの場合でもポストプレーを使い、教大を苦しめた。後半教大は浅野の活躍で宗形をふり切った。

甲南大（兵庫）16（6―6、10―9）15 塩山ク（山梨）

〔評〕塩山は後半22分まで15―14とリードしたが23分、24分に甲南大の久光に連続ゲットされて惜しくも敗れた。塩山クには元大崎電気にいた宮原宏がいる。

日体大が善戦

▽2回戦

芝浦工大（東京）25（11―6、14―4）10 常盤工業

〔評〕芝浦は7分まで苦戦したが、その後やっと調子を出し、速攻を展開して勝った。後半の芝浦は多彩な攻撃をみせて楽勝した。

関学 18（6―5、12―8）13 法大

〔評〕関学は飯端の好リードとミドルシュートが成功した。法大は後半14分まで13―12と1点差で食いついていたが、このあと関学にふり回されてしまった。

同志社大 14（8―5、6―8）13 中大

〔評〕両チームとも遅攻を主体にプレーした。中大は後半20分に速攻に切り替え、29分山中のシュートで1点差まで詰め寄ったが惜しも敗れた。中大は前半から速攻でいくべきだった。

大阪イーグルス 20（6―7、14―5）12 星友会

〔評〕イーグルスは後半16分青木のシュートで10―9と逆転に成功、このあと東の好リードで加点した。星友会の石井は6点をあげる好プレーをみせた。

全立大 14（4―5、10―6）11 日体大

〔評〕日体大は前半14分まで4―1とリードしたが、セットの動きが悪く前半は凡戦。後半全立大は木野の好リードでわずかにリー

ドを保ち、やっと日体大を押えた。

関大 34（17－4 17－8）12 新潟教員

〔評〕関大は脚力を生かし、新潟ディフェンスを簡単に破って大量得点をあげた。新潟は林、山田、小林がよくがんばった。

埼玉 滴水会 17（10－6 7－10）16 東京教大

〔評〕滴水会は後半7分大矢のゲットで11－11と追いつき、このあと秦の大活躍で1点差で逃げ込んだ。教大は27分7MT、28分ノーマークシュートを失敗したが痛かった。

大崎電気 22（12－6 10－6）12 甲南大

〔評〕大崎の出来はよくなかった。むしろ甲南大の善戦はほめていい。甲南大は福田、久光、松井が健闘した。

関学善戦

▽準々決勝

芝浦工大 25（16－6 9－9）15 関学

得	芝浦		関学	得
0	山村	GK	松田	0
0	伊藤	GK	細井	0
7	近藤	FP	吉田	0
4	岩崎	FP	飯端	7
3	関根	FP	矢本	0
0	片山	FP	永井	2
6	山田	FP	西野	2
3	近森	FP	喜田	1
2	竹内	FP	辻本	0
0	小林	FP	森口	1
0	白神	FP	真砂	2
25	（5）	7MT	（1）	15

▽反則退場者（関学）真砂＝2回、永井

〔評〕関学は前半善戦した。終始遅攻に徹し、飯端のロングをたよりに試合を進めた。しかも芝浦ディフェンスの甘さ、フリーシュートのミスで優位に立っていた。後半になると芝浦は得意の速攻をかけて関学をふり切った。この試合で関学は3人の反則退場者を出した。

イーグル勝つ

大阪イーグルス 17（7－7 10－8）15 同志社大

〔評〕シーソーゲームを展開。後半5分には10－10、15分には13－13。大阪は18分、21分に井上のシュートで15－13、28分には17－14と3点差をつけた。同大は29分飯田の好折で17－15としたが、これが精いっぱい。同大にもう少し若さと走りがあれば…と実に惜しまれる試合だった。

得	大阪		同大	得
0	島崎	GK	林谷	0
0	光島	GK	和保	0
3	松尾	FP	林	2
1	山崎	FP	飯田	6
0	丸岡	FP	佐藤	4
3	東	FP	守本	2
0	藤井	FP	秋葉	0
5	井上	FP	藁品	0
4	青木	FP	松浦	1
1	北岡	FP	小幸	0
0	加藤	FP	高橋	0
17	（1）	7MT	（2）	15

窪寺（関大）大活躍

全立大 24（13－13 11－6）19 関大

〔評〕関大は横パスが多く、オフェンスに鋭い切り込みがない。しかも横パスを全立大にカットされ、これを得点に結びつけられた。関大は後半10分に13－12と1点差に追いついたが、これが精いっぱいだった。関大の窪寺は一人で12点をあげ、このうち6点が7MTである。

得	全立大		関大	得
0	尾形	GK	平松	0
0	川口	GK	西口	0
4	木野	FP	西田	0
4	東	FP	武脇	0
0	北井	FP	窪寺	12
3	北村	FP	多賀谷	1
7	野田	FP	加古	2
0	藤城	FP	成田	2
5	小野口	FP	宮永	2
1	江名	FP	松田	0
0	倉前	FP	馬着	0
24	（5）	7MT	（6）	19

大崎電気勝つ

大崎電気 25（12－6 13－6）12 埼玉 滴水会

〔評〕大崎は前半7分まで調子が出なかった。8分井上の好打で3－2としてから速攻、ポストプレーなどで一気に滴水会を引き離した。滴水会もよく走り、パスワークもよかったが、結局は実力の差で勝負がついた。

得	大崎		滴水会	得
0	福本	GK	大石	0
0	下里	GK	高橋	0
0	田口	FP	松森	3
0	宮原	FP	森田	0
1	北村	FP	浦生	2
3	金田	FP	古村	0
9	井上	FP	三浦	1
5	竹野	FP	山中	1
4	小谷内	FP	村上	0
2	西村	FP	秦	3
1	坂野	FP	大矢	2
25	（2）	7MT	（0）	12

▽反則退場者（大崎）田口、（滴水会）森田、大矢

大阪イーグルが5連勝

◇第9回全日本教職員選手権大会（8月15日—17日水戸商高体育館）

▽1回戦（1試合）

埼玉教員団 23－7 愛媛教員団

▽2回戦

桜友会（東京）34－16 三重教員団

大分教員団 38－7 栃木教員ク

静岡教員団 13－7 山口教員団

岐阜教員ク 36－3 桑朋会（東京）

全茨城教員 17－16 福井教員団

神奈川教員団 33－21 福島教員ク

福岡教員団 20－14 香川教員団

大阪イーグルス 24－15 埼玉教員団

▽準々決勝

大分教員団 17－9 静岡教員団

岐阜教員ク 25－13 全茨城教員

神奈川教員団 17－14 福岡教員団

大阪イーグルス 20－14 桜友会

▽準決勝

大阪イーグルス 21（10－7 11－9）16 大分教員団

岐阜教員ク 19（7－7 12－6）13 神奈川教員団

▽3位決定戦

大分教員団 27（12－6 15－6）12 神奈川教員団

▽決勝

大阪イーグルス 25（12－12 13－11）23 岐阜教員ク

時評

「スポーツと政治」は別

日中で世界の王座を

いま中国で〃紅衛兵〃旋風がまき起こり、世界の注目を浴びている。読者のみなさんは新聞、テレビ、ラジオですでにご存じのことだから、紅衛兵のことは割愛する。その時機に中国から男子チームを日本に迎えたことは大きな意義がある。「スポーツと政治」は別であるということだ。紅衛兵の行動が果たして〃政治〃であるかどうかに疑問はあるが、毛沢東主席が総司令だというから政治と見なしていいだろう。

いまここで、中国の政治について言おうとしているのではない。その情勢のなかで、スポーツが、しかも国際試合が実施されている。9月12日に日本庭球チームが、21日に日本卓球チームが中国から帰国し、また日本アマチュア・レスリングチームが中国へ遠征した。いまここに中国ハンドボールチームが日本各地で親善試合をやっていることなので、中国の紅衛兵旋風とスポーツとは全く関係がないといってもいい。スポーツはそういうものである。

紅衛兵旋風のため、もし中国のハンドボールチームの来日が実現されなかったら、それこそ大変なことになる。中国体育界の首脳部もこのことをよく知っていたのだろう。中国人民のためのスポーツ、日中スポーツ交流のためのスポーツという〃錦の御旗〃のもとで日中交流が展開されている。日本ハンドボールチームは昨年4月に中国に遠征して1勝8敗の不成績だった。成績の良し悪しよりも、中国のレベルを知ったことに大きな意義があったし、1年後の現在、日中両国のレベルを知るために意義がある。とくに来年1月の世界選手権に備えて、日本が中国を相手に小手だめししたのも大きなプラスである。来年からは男女両チームとも交流するが、中国との関係はますます親密の度を加える。日中両国でオリンピック、世界選手権大会の王座を争う日の近いことを祈る。

横浜での第1戦を見たが、中国チームはなかなかスマートである。目についたことは、やはりパスミスが少なかったことである。この点は日本チームも学ぶべき点があるのではないかと思う。でも、やたらに中国は強いと思ってはいけない。中国チームにはスピードがないので、日本チームが最良のコンディションでのぞめば恐るるにたらずである。芝浦工大の逆転勝ちで、日本チームも大いに自信をつけたことと思う。きたるべき世界選手権大会へのいいプレゼントである。ハンドボールファンも芝浦工大の勝利にとび上がって喜んでいた。（幸）

楽書き帖

女子チームに"最敬礼!!"

鷲尾武治

○…勝負は勝たなくてはダメ。というのは、全日本総合選手権大会で優勝した大崎電気女子チームの優勝祝賀会が8月30日、国電大崎駅前のスナック「いずみ」で盛大に開かれた。主賓はなんといっても女子の選手。これは当然の話である。定刻前に今野監督（男子）ら男子チームは勢ぞろい。宮原監督（女子）らの女子チームは定刻より遅れること30分。しかもバスで乗りつける豪華版。女子の選手が会場にはいると男子チームは今野監督の号令で一斉に立ち上がり「このたびはオメデトウございます。きょうはわざわざお招きくださいましてありがとうございます。女子チームに最敬礼!!」とあいさつ。これには女子選手がビックリ。やがて生ビール、料理が運ばれた。「女子は大威張りで飲んでよし」と渡辺社長からお許しが出ると、宇井敬子さんら一軍の選手は大ジョッキを傾けてゴクン、ゴクン。男子はしばらくお預け。このあと「いただきます」─これは男子。宴たけなわ…女子の前に大ジョッキが林のように置いてある。これをもてあましてコカコラーに転向すると〃待ってました〃とばかり、男子の手が出て、あっという間にこの大ジョッキがカラとなった。今野監督は「どうせ大ジョッキで飲むなら、優勝してから飲みたかったなー。それだと、もっとうまかったと思う。やっぱり勝負は勝たにゃーいかんですな。敗軍の将、兵を語らずとか。私はなにもいうことがありません」と述懐。

○…「24─8とダブルスコアどころか1/3ですよ。ぼくは大崎電気で長いことプレーしたが、こんな不名誉な記録は初めてです。全立大に負けた翌日から練習ですよ」と竹野君がいう。脚力がなかったのが敗因。まず練習は基礎体力から…というので、午後は約一万五千メートルのランニング。五反田の大崎電気から宮城前まで全員が走る。所要時間は35分から45分。それまでいつもビリを走っていた西村君は、ヤル気をだしたのか連日3位でゴールイン。男子の全員がいうには「12月の全日本選抜選手権の優勝をねらっています。下半身を鍛え、走り抜く体力をつけるのが目的です。夏の全日本総合は完敗した。これはいい教訓になりました。打倒全立大、打倒芝浦工大あるのみです」と早くも闘志満々である。

○…大崎電気女子の優勝について高嶋理事長は「いまの大崎電気の試合を見ると、昨年と比較して見違えるような〃うまさ〃がある。いまの力なら昨年世界選手権で優勝したユーゴよりも上だ。いまユーゴと試合したら大崎電気が絶対に勝つ。太鼓判を押すよよくここまでやってきたね。おめでとう。ほんとうによかった」と大崎電気の選手を一人一人ほめていた。

パトロール

全国少年団交歓会地区大会開く

14面のコートをフルに使う

東京重機・三菱鉛筆が特別出演

8月17日・横浜で

昭和41年度における日本ハンドボール協会の重点施策の一つであった少年団大会は、当初計画した柏崎市における全国交歓会を変更し(1)全国交歓会地区大会(2)団旗リレー(3)全国結成大会―として開くことになり、そのうち全国交歓会地区大会が8月17日、横浜三ツ沢競技場を中心として、盛大に開かれた。

台風14号を心配した天候もこの日は秋晴れを思わせるほど深く澄み、ハンドボール少年団の前途を祝福するかのような快晴。受け付けは朝8時ごろから続々と子供たちが詰めかけ、女子高校選手や実業団選手のおねえさんたちから真新しいユニホームとストッキングをもらって大喜び。ざっと見たところ、小学校2～3年生から中学校3年生ぐらいまで約1000人。

柏崎少年団も参加

そのうちに新潟県協会長の近藤禄郎氏に率いられた柏崎ハンドボール少年団が到着。よく見れば渡辺五郎兵衛理事長もいる。思わず走り寄ってその労をねぎらう。会場を一巡すれば競技場に6面、サッカー場に6面、サブトラックに2面の計14面のコートが、緑の芝ふにくっきりと浮んでいる。子供たちでなくても、飛び、はね、ひっくり返ってあばれてみたい環境だ。

9時50分いよいよ入場。それぞれのグループごとに少年団旗を持っての入場だ。小学生あり、おとなのような中学生ありで、実にほほえましい。なかには女子だけのグループもある。みんなユニホームをつけ、胸を張って堂々の入場だ。みんな一流のハンドボール選手になったような顔をしている。「これでいいんだ！」という感情が、ふっと脳裏をかすめる。祝辞、柏崎少年団の紹介、誓いのことばがあって開会式を終了。直ちに一つのコートに集まって模範試合の見学。模範試合は東京重機と三菱鉛筆（ともに神奈川県所属）のおねえさんたち。

東京重機対三菱鉛筆の試合を見学

おねえさんに挑戦

この模範試合が大成功。子供たちは見ているうちにゴールキーパーの防御法、ジャンプシュート、倒れ込みシュート、ポストプレーなどをすっかり覚え込んでしまった。10時50分からいよいよお待ちかねのハンドボール活動にはいる。一コートに1人ずつの指導者と、実業団の女子選手が補助員として2～3人ずつついている。指導者の中には宮崎常務理事、安藤理事、中野普及部員、近藤東京重機監督、池田三菱鉛筆監督などの顔も見える。準備運動からパス、キャッチ、ランニングパス……。すでに攻防戦にはいっているところもある。約1000人の子供たちが一人としてボーッと立っている者がない。みんな走り回っている。きれいな緑の芝ふの上を…。

11時30分、午前の活動終了の合図があったがなかなかやめない。なかにはいったんやめたあと、今度は補助のおねえさん選手たちを引っ張り出して挑戦しているグループもある。やはりスポーツは魅力があるんだなあーと、つくづく思う。

お医者さんは開店休業

昼食後しばらくの間、全員スタンドに集まり、音楽を聞きそして歌う。中学校合同吹奏楽隊と関東学院高等部の友情出演だ。13時から再び午後の活動を始める。すでにゲームにはいった組もある。きょう初めてハンドボール始める子供が約90％というのに、もう堂々とゲームをやっている。それも正式なのだ。無限の可能性を秘めた子供たちの姿を、あらためて思い知らされた気持ちだ。お医者さん1人と看護婦さん2人が全く手持ちぶさたで、とうとうコートまで出かけて応援団に早変わり。あるコートは引率のおとな対子供の試合。

将来の原動力に

小学生を含む1000人の子供たちが、やがて将来ハンドボール

柏崎ハンドボール少年団、右端は新潟県協会の近藤会長、左端後列は同協会の渡辺理事長。

競技の発展の原動力となるであることを念願した一日であった。また子供たちがいかに、よい環境と、正しい指導によるスポーツに魅力を示すかを発見した一日でもあった。そして、協会が打ち出した重点施策が、少なくとも間違っていなかったことを認識し、スポーツこそ実行あるのみだとの感を強くした一日でもあった。

私は最後にあえておとなにお願いしたい。民族の将来をになう子供たちをりっぱに(スポーツ的に、ハンドボールを通じて)育てようではないか。そのときこそハンドボールが、文化遺産としての光を発揮するときであろう。来年はたぶん、日本海に面した〃スポーツの町〃柏崎で開かれることになるだろう。そのときこそ、こぞって参加しようではないか。一県からたとえ1人でもよいのだ。それが〃一粒の麦〃になるならば…。

〃オッと、あぶない〃—へっぴり腰でボールをキャッチする女の子。左は山口県協会の藤田理事長

実業団のおねえさんと仲よく記念撮影した坊や

× ×

大きく育とう 仲田さんのことば

この会の閉会に当たって女子の仲田美智子さん(横浜港南中学校)が、実に感激的な終わりのことばを全員の前で高らかに朗読した。これこそハンドボール少年団の思想であろう。

仲田美智子さん

ほんとうに楽しい一日でした。遠く柏崎からのお友だちを迎えて、また横浜市の多くのお友だちにもハンドボールを通して友情を深めることのできましたことを。

じょうずな人、きょう初めてボールにふれる人、きょうはハンドボールを愛好する人たちの集まりでした。初めてボールにふれた人は、この競技に、きょうを機会に練習に励まれると思います。私たちの強敵がまた一チーム生まれるわけです。新聞は毎日いやなニュースばかり告げています。私たちはハンドボールを通して若い者らしく、正しく生活していこうではありませんか。きょうの楽しい一日のため、本部長の先生をはじめ多くの先生方のお仕事のたいへんだったことを感謝し、合わせてハンドボール少年団の大きく育っていくことをお誓いして終わりのことばとします。

1966年8月17日
ハンドボール少年団員
仲田 美智子

☆ ☆

夏の大会から拾う

ことしも例年のように7月、8月の2カ月間はほとんど東京を留守にした。大きな大会が四つもこの2カ月に集中していてはしかたのないことである。例によって夏に拾ったこと、感じたことを率直に述べてみたい。ハンドボールをプレーする人たちが少しでも世の中の人たちに愛され、尊敬され、それによってわれわれのハンドボールが、もっともっと正しく発展するために……。

開会式は厳粛に

七月中旬に全日本学生選手権大会の開会式。なにをカン違いしたか某大学の選手は、会長あいさつから市長祝辞などを通じて横を向き、後ろを向いてしゃべっていた。失礼この上もないことであり、なんのためのスポーツぞやの感を深くした。まして他のチーム全部がピシャッとしていただけに、いっそう目立った。ことは〃九牛の一毛〃かもしれないが、そのこと自体によってハンドボールの品位を傷つけれることを恐れるものである。人の話には黙って耳を傾け、セレモニーは厳粛なものであることぐらいは子供でも知っていることである。ましてがまんし、忍耐することは、スポーツマンに与えられた恵みであることを銘記していただきたい。

奉仕の精神忘れるな

同じ学生選手権大会。会場は大阪府立大学。大学当局のご後援、ご支援はたいへんなもので、バックネットなどは移動車輪つきの豪華なもの。開会式前、雨上がりの競技場でラインを黙々と引いている学生がいる。見たことがあるぞと思って近づくと、なんとこれが関東学連委員の諸君。これだ!と心で叫んだとともに二十数年前、自分でラインを引き、試合をし、審判をやった当時の自分の姿を思い出し、ジーンときた。特に若い人たちにお願いしたい。人のいやがることを進んで奉仕しようではないか。

(高嶋 洌)

鈴蘭台高チーム

がんばる三代目

鈴蘭台高（兵庫）

私たち鈴蘭台高校女子ハンドボール部は結成して四年目。現在三代、四代目部員に受け継がれ、毎日練習に励んでいます。私が入部したとき、初代の方々が活躍していた。最も強いころでした。その先輩たちは運動場の不備を少しでも補うため、石を拾ったり、土を運んだりして練習がしやすい状態にしたのだそうです。

二代目になると、二年から始めた人たちばかりだったのでチーム力は落ちました。でも一年間のブランクを取り戻すため必死だったそうです。顧問の先生が男子にかかりきりで、練習にきてもらえません。試合があったときに他のチームの攻撃法、ディフェンスその他を見て、それを少しずつ取り入れました。また部員の少ないのも大きな悩みです。しかし試合は負けてばかりはいません。神戸市大会で優勝できるようになりました。三代部員に受け継いだ私たちはいま、先生のコーチでものすごく張り切っています。

（主将　前田明美）

打倒〝栃木女子高〟

小山城南高（栃木）

わが校ハンドボール部は、私が一年生のとき転任してきた清水先生が、体育の時間に走れそうなめぼしい一年生を集めてつくられたクラブです。一年生だけを集めたのは、三年越しで強豪チームをつくる目的があったからです。このようにして部員14人のハンドボール同好会ができました。その年の39年10月から野球場の片すみを借り、むかし授業で使っていたといわれる粗末なゴールとボールで練習を始めました。最初は他のクラブから、あれで練習しているのかとチャカされました。しかし月がたつにつれて他の部から認められ、そして励まされました。次の年には新設クラブとして生徒会で許可され、少ないながらも予算をいただきました。そして第11回、第12回関東高校大会に出場し、第12回大会にはベスト8に残るという栃木女子高に次ぐチームとして順調に伸びてきました。私たち第一期生は〝打倒栃木女子高〟を実現することを念頭において、後輩ともども一に練習！二に練習！三に練習を合いことばに練習に励んでいます。

（主将　金井文子）

小山城南高チーム

先輩に負けるな

北淀高（大阪）

私たちの高校が創立されたのは昭和38年。歴史といっても、いま始まったばかりの段階である。ことし2月に巣立たれた一期生の苦労は、並みたいていではなかった。クラブが発足した当時はグラウンドの整備も不完全で、もちろんゴールなどはなく、板をゴール代わりにしていた。試合前には、他校のゴールを使用させてもらっていたような状態であった。

あれから3年。先輩たちのあのような苦労も味わうことなく、練習に励んでいる。私たちにとって最も大きな痛手は、コーチの先生がおやめになったことである。だから練習法もとかく単調で我流になりやすい。それにつけて思うのだが、講習会が数多く開かれればいいな―と思う。それにより技術の向上をはかりたい。先輩たちの功績はすばらしかった。現在の私たちがその何分の一を確実に果たせようか。

将来の北淀高ハンドボール部の前進を、今日私たちの手に一任されていると思えば、先輩たちの偉大さに負けないぐらいのファイトが、若いエネルギーの源泉からほどばしってくる。（松本紀子）

北淀高校チーム

がんばろう

わが徳島東工高は来年で創立30周年です。したがってどの部も古い伝統を持っていますが、そのな

徳島東工高（徳島）

かでいちばん新しい部が今春結成されたハンドボール部です。部結成時には、部員のなかでハンドボールをマスターしていた人は一人で、あとは初心者でした。部員の勧誘には、ハンドボールにたいしてあまりに関心がなく、苦労しました。本校は男子が99％もいるのに、集まったのはたった12人でした。こんな小世帯でそのうえ初心者ばかりでしたから、私たちの前途は全く真っ暗でした。

しかし「がんばろう」と先生や先輩に励まされ、まず毎日基本技術を一つずつマスターすることに専念した。6月の県下総合体育大会で前回（準優勝）よりも悪い成績に終わって残念でした。これからは基本練習、練習試合を多くし、結成時の目標である県下一に一日も早く達することが、監督や先輩にたいしてなによりの贈り物と思います。この贈り物が一日も早く実現できるように、毎日毎日練習に汗を流しています。（小西大吉）

徳島東工業高チーム

四国大会に出場して

池田高（徳島）

四国大会は7月23、24日松山市で開かれました。なにしろ私たちがクラブとしてボールを手にしたのはこの5月からなので、大会に参加するといっても試合をするのではなく、観戦するという態度で臨みました。しかし練習は毎日7時ごろまでがんばりました。少しでも恥ずかしくない試合をするために…。さて、大会での一回戦は高知の優勝校高岡と対戦。正直のところ勝つ自信もなく、ただ精いっぱいがんばろうとだけ思っていたのに、接戦のすえ13－11で勝ったのです。私たち自身驚き、かつ感激しました。しかしその後の試合は大敗。結局1回戦の勝利はラッキーで、あとの2ゲームが実力なのでしょう。優、準優勝チームはさすがにうまい。パスワーク、速攻、遅攻、それに粘り強さなど、どれをとっても学ぶところばかり。私たちの目的であった見て学ぶことは一応成果があったようです。この大会で得たものを土台に、わずかではあるけれど一層練習に励み、これからも恥ずかしくない試合、好感を持たれる試合をしたいと願っています。（坂本悦子）

徳島県池田高チーム

待望の1点

那覇高（沖縄）

昨年の春、熊本選抜チームが沖縄に遠征するまで、ハンドボールはあまり知られていなかった。それいらい、先生や生徒間で「クラブをつくろう」の声があって、まがりなりにも沖縄で最初のハンドクラブが誕生しました。初めはどんな練習をやればよいのか見当がつかず、なわとび、階段昇り、柔軟体操パスをやりました。シュート練習のときは、ゴールポストがなかったので地面に3メートルの線をひいてやりました。ルールはしっかりと頭にたたき込む。

6月に試合をして負けたが、他校のバスケットボール両刀使いのチームよりルールを知っている点で私のチームの方が一枚上だった。12月の全日本との試合では選手の動き、シュート一つにしても感心し、試合運びに目を見はった。また私たちにとって待望の1点がはいったときには、優勝したかのごとく涙を流して喜びました。そこであらためて本土との練習量、質、試合経験の違いが痛切に感じられました。ことし4月の試合は首里に敗れて2位。6月の試合では三年生が練習から遠ざかっていたので、だめでした。いままでの悩みのタネは練習場がないのとクラブ員の少ないことです。

吉村　千鶴子さん

伝統を築く

柏木農高（青森）

青森県では、ハンドボールというスポーツはあまり知られていない。そのハンドボールという未知のスポーツを始めた歴史は、まだ非常に新しく40年9月のこと。最初は同好会として出発し、ことしの1月に同好会員待望の部となりました。初めてボールを手に取ったとき、聞く用語、動作、それらすべてのものが初めてであり、不安と恐怖との入りまじった複雑な気持ち。そしてひたすら練習に励んできました。

ことしの9月で1年を迎え、相変わらず敗戦の一途をたどってはいます。試合経験を重ねるにしたがって、試合内容も身につき、実力もしだいに発揮できるようになり、将来大きな希望をもてるようになりました。また私たちの学校には、他校のように伝統もなければ歴史もありません。後輩に恥ずかしくない伝統と歴史をつくるため、部員一同来社のスポーツの開拓に励んでいます。

（佐藤正道）

柏木農高チーム

前進する

蒲郡高（愛知）

〃ファイト〃〃ハイ〃と太陽が照りつけるグラウンドで、砂ぼこりと汗で真っ黒になりながらも無心に練習を続ける蒲郡高ハンドボール部。全体に小粒だが〃ピリリ〃とからく、チームワークではどこにもひけをとらない。これが蒲郡高ハンドボールの特色であり、これからもそうあることを願っている。

私たちの目標は「インターハイ、国体に出場すること」である。しかしそうなるためにはチームワークだけではだめである。これを土台にして他校よりも二倍も三倍も練習に励み、また、努力して、その目標に一歩一歩確実に前進していかなければならない。そして私たちは脚力を強くし、より一層「走る」ことにたいする責任と自信のために合宿で自分の限界をためしたのである。

一年生も二年生も三年生もみんなで励まし合い、いたわり合ってあすへの栄光に向かって前進する。

（井上久美）

蒲郡高チーム

努力しよう

明訓高（新潟）

生徒数2000人のマンモス学校明訓。しかしながら、わずか1/4にしか満たない女子の存在は雲に隠れた月のように影が薄い。当然クラブ活動は（女子の部であるが）娯楽と化してしまう。その波におぼれぬように活躍しているクラブが、ハンドボールクラブと言っても過言ではないと思う。

結成されてから一年の幼い私たちの集まりは、もう一歩というところで足踏みをしている状態である。6月のインターハイ予選は負けてしまった。全国大会出場を期待しておられた先生、先輩に顔向けできなかった。こんな悲しい思いはしたくない。また新人戦でも延長戦まで持ち込みながら敗れてしまった。

一人一人の技術は他校にまさると言われていながら伸び悩んでいるのは、根性のないことが第一にあげられると思う。この問題が私たちのこれからの課題であろう。

（成田政子）

明訓高チーム

連載第26回

ハンドボール球史

～全日本総合選手権・発展期へ～

第2回大会は第1回の10カ月後に、東京・駒沢球技場で開かれている。同年内に2回の開催は変則だが、第1回（2月）は昭和24年度事業として開かれたものだ。こうした例はその後起こっていない。参加チームは男子が15と前回より1チームふえた。所属地の内訳は東京11、山梨2、神奈川、宮城各1で〝全日本〟とは名ばかり。しかも湘南ク（神奈川）仙台ク（宮城）が棄権したため一層貧弱な印象を与えてしまった。しかし内容的には国内のトッププレーヤーが日体大系（4チーム）教育大系（3チーム）に分散して出場、〝全日本〟大会らしい密度の濃い攻防技術を見せた。ベスト4は日体大系3、教育大系1の色分けとなった。

一方女子は、全山梨と東京オールド・ガールズクラブ（東京OG）の2チームが参加しただけ。しかし後掲のように第1戦が引き分けとなり、再試合をやるという大熱戦を展開した。決勝が再試合となった記録は、男女を通じてその後一度もない。

「新ルール」を適用し運営

この大会は、7月末にIHF（国際ハンドボール連盟）から到着したばかりの〝新〟ルールが適用された。それまで国内の競技はすべて「1936年度規則」によって運行されていた。第2次大戦による国際交流の断絶から、戦後になってもIHFの動向を知ることができなかった。25年5月に日本体協会長の東竜太郎氏がコペンハーゲン（デンマーク）で開かれたIOC（国際オリンピック委）総会にオブザーバーとして出席し、国際ハンドボール界の消息を得、1947年（昭和22年）にルール改正があったことを知った。日本ハンドボール協会は早速送られてきたルールブックを翻訳し、9月をもって切り替えを決定、10月の第5回国体が新ルール適用の初の全国大会となった。

改正の最大点は、センターラインから30フィート（約9米）に引かれていたオフサイド・ラインが全廃されたことで、ゴール・エリア周辺での攻防の様相が一変、より豪快でスピーディな競技となった。

▼第2回全日本総合選手権（昭和25年11月24・25日、東京都駒沢球技場）

▽男子1回戦

スワロー桜（東京） 5－1 B・R・O（東京）
全マルーン（東京） 1－0 駿台クA（東京）
全山梨（山梨） 不戦勝 湘南ク（神奈川）
駿台クB（東京） 記録不明 赤門ク（東京）
全教育大（東京） 12－1 スワロー梅（東京）
スワロー松（東京） 9－1 教育大（東京）
山梨大（山梨） 不戦勝 仙台ク（宮城）

▽同2回戦

日体大（東京） 7－5 全山梨
全教育大 5－0 駿台クB
スワロー松 6－2 全マルーン
スワロー桜 20－0 山梨大

▽同準決勝

全教育大 13（6－0、7－1）1 日体大
スワロー松 9（6－2、3－6）8 スワロー桜

▽同決勝

スワロー松 6（4－1、2－1）2 全教育大

優勝メンバー
（スワロー松）
高倉大祐
若崎重富
日沖修
島田新太郎
稲石三二
岡本克彰
勝繁夫
田中明
槇敏夫
皆川茂夫
宇津野年一

▽同女子決勝（参加2チーム）

全山梨（山梨） 2（1－1、1－1）2 東京OG（東京）

優勝メンバー
（全山梨）
栗原富貴子
手塚八重子
手塚富美子
奥山恵子
深沢通恵
井沢和子
小宮山国枝
雨宮幸子
土屋きふじ
原田百合香
今沢美代子

▽同再試合

全山梨 3（1－1、2－1）2 東京OG

当時の一般女子界

第三回大会（昭26）は石川県小松市の芦城競技場で開かれた。昭和22年に国体を開いた実績と、北陸地区への普及をねらっての開催であった。男子は9都道府県から14チームが参加したが、女子はこの年も3チームと振るわない。

本題から離れるが、ここで当時の一般女子界についてふれておこう。女子界は戦時中も活動の継続を認められていたこともあって、第2次大戦直後から師範学校、当時の高等女学校（現高校）とに活発な動きがみられた。しかし卒業後、クラブチームを組織してまで競技を続ける者は少ない。まして全国大会に参加しようという気持ちはなかったようだ。

OGによるクラブの唯一の目標は〝国体〟であり、それも「参加することが第一」。協会としても女子興隆を心にかけながら当面の課題は男子部門の充実にあった。当時を考えれば、それを責めるわけにはいかない。その後の女子界の消長を考えれば、すべてを肯定することもできまい。幸いにして最近は実業団チームが積極的な行動をみせているため、世界選手権に参加できるまでに伸びてきた。

そうした中で、この大会を頂点に激しい対抗意識をもやしていた

のは東京と山梨であった。特に山梨女子チームの活躍は岡山、大阪らから名門が参加しなかっただけに、大会を盛り上げる大きな力となった。それにしても、当時の選手たちは、いまどこにいるだろうが。ぜひ消息を知りたいものだ。最近の女子界の活況を見るたびに、古い時代の苦労をしのばずにはおられない。

▼第3回全日本総合選手権（昭和26年8月24～26日、石川県小松市芦城競技場）

▽男子1回戦

北辰ク（石川） 6－5 立命館大（京都）
全愛知（愛知） 8－5 全神奈川（神奈川）
北嶺ク（富山） 14－1 春日ク（奈良）
大阪歯大（大阪） 不戦勝 香ク（石川）
日体大（東京） 10－8 桃蔭ク（大阪）
金沢ク（石川） 不戦勝 関学（兵庫）

▽同2回戦

スワローク（東京） 17－2 北嶺ク
全愛知 9－0 北辰ク
日体大 9－4 大阪歯大
全教育大（東京） 14－2 金沢ク

▽同準決勝

スワローク 12（6－1、6－3）4 全愛知
全教育大 9（4－4、5－2）6 日体大

▽同決勝

スワローク 10（3－1、7－4）5 全教育大

スワロークラブは2年連続優勝＝構成メンバーのうち前年優勝者は4人だが、同母体のチームとして連続優勝とみなす。

優勝メンバー
（スワロー・ク）
岡井幸由
藤田八郎
中出盛雄
藤田信義
瀬尾秀己
岡本克彰
勝　繁夫
田中　明
村田　弘
皆川茂夫
中西敬一

▼女子1回戦（1試合）

全山梨（山梨） 5－5（抽選勝） 小松ク（石川）

▽同決勝

芙蓉ク（東京） 3（2－1、1－1）2 全山梨

日体系くずれる

27年の第4回大会は、日本ハンドボール史上でも、特筆される大会となった。それは男子決勝で、セントポールクラブA（東京）が常勝を誇っていた日体系から初めて優勝を奪ったからである。決勝のセントポールAと、3連勝をねらうスワローク（東京）は、センセーショナルな一戦にふさわしく延長にもつれ込んだが、セントポールAの闘志が見事に実った。

同クラブの台頭は立大が前年に関東学生リーグで、春秋連勝したことにより、ある程度予測されていたが、日体大系がいざ敗れてみると、その強さが抜群だっただけに、球界に与えたショックは大きかった。スワロークは準決勝で早大（東京）に5－4と苦戦した。〝日体を追い越せ〟というムードの高まりを反映した大会であった。また翌年の第5回大会からスワロークは全日体大として登場、メンバーを一新した。そしてすぐに王座を奪い返した。このことを考えると、セントポールクの投じた一石は長い間、全日本のトップクラスとして活躍していた選手たちに交代期を告げたともいえそうである。

いずれにせよ、日体と並ぶ名門全教大を準決勝で、そして決勝で宿願を果したセントポールクの快挙をはじめ、各試合ともようやく〝全日本〟らしい内容を伴ってきたのは発展期にはいったことを示した。後年全盛を誇る芝浦工大（東京）が初登場し、1回戦で完敗した記録が見えるのもなつかしい。こうした男子の活況に比べ女子はついに休会、翌年すぐ復活されたものの寂しいことであった。

▼第4回全日本総合選手権（昭和27年11月28－30日、東京都駒沢球技場）

▽男子1回戦

全教育大（東京） 33－1 岐阜大（岐阜）
セントポールA 11－8 日体大B（東京）
全明大A（東京） 13－5 芝浦工大（東京）
全明大B（東京） 7－5 全山梨（山梨）
スワローク（東京） 16－14 日体大A（東京）
湘南ク（神奈川） 14－11 セントポールB

▽同2回戦

スワロークラブ 10－2 全明大B
早大（東京） 14－5 湘南ク
セントポールA 10－8 全明大A
全教育大 5－4 慶大（東京）

▽同準決勝

セントポールA 11（6－4、5－4）8 全教育大
スワロークラブ 5（4－3、1－1）4 早大

▽同決勝

セントポールA 14（2－6、8－4、2－1、2－0）11 スワロークラブ

優勝メンバー
（セントポールA）
浜田猪三郎
中村醇三
土橋実
中村一郎
大嶽繁夫
島田栄一
浦上博
進藤雄彦
小川励行
杉山健夫
横田光男

*　*　*
*　*　*

第21回国民体育大会組み合わせ

大崎電気、男女とも優勝か

高校（男）明星―桜台（女）和洋―菊池の対決か

10月23日から大分で

第21回国民体育大会ハンドボール競技は10月23日から28日まで大分市鶴崎工高グラウンドで開かれる。日本ハンドボール協会は9月25日、組み合わせを次のように決めた。

◇展　望

▽高校男子　インターハイ優勝の明星（東京）と同2位の桜台（愛知）の決戦となろう。

▽高校女子　インターハイ優勝の和洋女（秋田）が国体初優勝をねらっているが、菊池農（熊本）がこれをどうはばむか。

▽教員　大阪イーグル（大阪）の優勝は堅い。

▽一般男子　本命はやはり大崎電気（埼玉）である。桜丘会（愛知）の欠場は寂しい。

▽一般女子　大崎電気（埼玉）の優勝とみていい。これに迫るのが大洋デパート（熊本）田村紡（三重）の2チーム。

高校男子

愛　知（桜台高校）1
岩　手（盛岡一高）2
愛　媛（新居浜工高）3
北海道（函館東京）4
大　分（鶴崎工高）5
熊　本（熊本市商）6
京　都（伏見工高）7
山　口（宇部工高）8
長　野（上田高校）9
東　京（明星高校）10

3位決定

24日　25日　26日　27日

高校女子

秋　田（秋田和洋）1
富　山（有磯高校）2
大　分（大分東分校）3
愛媛（新居浜西高校）4
静　岡（静岡城北）5
栃　木（栃木女子高）6
広　島（山陽女子高）7
北海道（室蘭商高）8
大　阪（大谷高校）9
熊　本（菊池農高）10

3位決定

24日　25日　26日　27日

教員男子

大　阪（大阪イーグルス）1
熊　本（熊本教員）2
埼　玉（埼玉教員）3
香　川（香川教員）4
岩　手（岩手教員）5
大　分（大分教員）6
北海道（函館教員）7
長　野（長野教員）8
山口（山口教員団）9
岐　阜（岐阜教員）10

3位決定

24日　25日　26日　27日

一般女子

熊　本（大洋デパート）1
富　山（高岡女子高ＯＢ）2
山　形（三菱鉛筆）3
大　分（大分ライオンズ）4
高　知（高知西高クラブ）5
愛　知（愛知紡績）6
埼　玉（大崎電気）7
北海道（室蘭クラブ）8
大　阪（寝屋川クラブ）9
神奈川（東京重機）10
岡　山（全岡山）11
三　重（田村紡績）12

3位決定　27日

24日　25日　26日　27日

一　般　男　子

第21回国体ブロック予選

◎印は国体代表

◇北海道予選（8月27―28日・室蘭商高）

▼高校男子1回戦

登別 18（9―4、9―2）6 月寒

函館東 20（7―3、13―7）10 室蘭東

▽準々決勝

清水ケ丘 17（8―6、9―5）11 紋別東

紋別北 32（12―3、20―6）9 室蘭工

室蘭商 23（11―2、12―6）8 登別

函館東 23（11―1、12―5）6 札幌商

▽準決勝

清水ケ丘 15（8―4、7―7）11 室蘭商

函館東 12（7―5、5―6）11 紋別北

▽決勝

◎函館東 15（7―5、8―4）9 清水ケ丘

▼高校女子1回戦

室蘭栄 13（6―1、7―2）3 稚内大谷

▽準々決勝

清水ケ丘 8（5―3、3―2）5 函館東

登別（不戦勝）紋別北

室蘭東 7（3―1、4―2）3 紋別南

室蘭商 24（13―0、11―1）1 室蘭栄

▽準決勝

清水ケ丘 10（1―2、9―0）2 登別

室蘭商 17（7―2、10―1）3 室蘭東

▽決勝

◎室蘭商 11（5―2、6―4）6 清水ケ丘

▼一般男子（2チーム）

◎函館サンダー・ク 36（18―3、18―2）5 五稜ク

▼一般女子（2チーム）

◎室蘭ク 16（7―2、9―2）4 函館ク

▼教員（2チーム）

◎函館教員 16（8―6、8―6）12 室蘭教員

◇東北予選（9月8―11日・山形県東根工高）

▼高校男子1回戦

盛岡商（岩手）17（7―3、10―6）9 福島（福島）

仙台二（宮城）17（5―5、6―6、3―1、1―3、2―1、0―1）17 大石田（山形）
抽選勝ち

盛岡一（岩手）25（13―2、12―4）6 青森（青森）

古川工（宮城）21（9―3、12―6）9 東根工（山形）

▽準々決勝

盛岡一 17（6―4、11―5）9 大曲（秋田）

古川工 18（6―5、12―7）12 聖光学院（福島）

湯沢（秋田）11（5―4、6―4）8 盛岡商

仙台二 18（8―0、10―3）3 青森商

▽準決勝

湯沢 11（7―4、4―6）10 仙台二

盛岡一 19（9―2、10―8）10 古川工

▽決勝

◎盛岡一 15（7―5、8―6）11 湯沢

▼高校女子1回戦

小高農（福島）10（4―4、6―2）6 涌谷（宮城）

緑ケ丘（福島）14（1―5、13―3）8 宮城二女（宮城）

▽準々決勝

花巻農（岩手）15（5―1、10―4）5 米沢女（山形）

六郷（秋田）15（6―1、9―6）7 緑ケ丘

和洋女（秋田）13（4―3、9―5）8 小高農

花巻南（岩手）28（16―1、12―1）2 竹田女（山形）

▽準決勝

花巻南 10（3―2、7―0）2 六郷

和洋女 10（6―2、4―1）3 花巻農

▽決勝

◎和洋女 4（1―2、1―0、1―0、2―1）3 花巻南

▼一般女子1回戦

三菱鉛筆（山形）8（2―2、6―2）4 全岩手（岩手）

全和洋（秋田）11（6―1、5―4）5 全宮城（宮城）

▽決勝

◎三菱鉛筆 9（4―3、5―4）7 全和洋

▼教員1回戦

宮城教員 19（13―8、6―7）15 山形教員

▽準決勝

宮城教員 16（7―9、9―6）15 福島教員

岩手教員 25（12―6、13―13）19 大曲教員

▽決勝

◎岩手教員 13（6―3、7―5）8 宮城教員

▼一般男子代表 東北学院OB、盛岡商友会、安積ク、大曲ク。

◇関東予選（9月9～11日・山梨県塩山中学）

▼男子1回戦

大崎電気（埼玉）27（12―2、15―1）3 佐原ク（千葉）

塩山ク（山梨）25（15―6、10―2）8 全群馬（群馬）

AOK（栃木）14（4―7、8―5、1―0、1―2）14 千代田印刷機（東京）
抽選勝ち

全神奈川（神奈川）20（11―5、9―2）7 勝田自衛隊（茨城）

▽準決勝

◎大崎電気 24（14―9、10―7）13 塩山ク

◎全神奈川 18（10―5、8―6）11 AOK

▽決勝

大崎電気 21（10―6、11―3）9 全神奈川

▽敗者復活戦

「A組」

全群馬 19（11―8、8―8）16 佐原ク

◎AOK 16（9―4、7―6）10 全群馬

◎全群馬 32（16―8、16―6）14 佐原ク

「B組」

勝田自衛隊 13（4―7、9―5）12 千代田印刷機

◎塩山ク 21（9―4、12―10）14 勝田自衛隊

◎千代田印刷機 15（6―7、7―6、1―0、1―1）14 勝田自衛隊

▼女子の1回戦

大崎電気（埼玉）31（14―0、17―0）0 佐原ク（千葉）

栃木女ク（栃木）17（5―2、12―4）6 全茨城（茨城）

東京重機（神奈川）16（6―4、10―3）7 レナウン（東京）

全群馬（群馬）12（4―4、8―6）10 日川ク（山梨）

▽準決勝

◎大崎電気 21（10―0、11―0）0 栃木女ク

◎東京重機 25（12―2、13―6）8 全群馬

▽決勝

大崎電気 13（5―3、8―2）5 東京重機

▼教員
埼玉教員 22（12－3、10－2）5 山梨教員
桜友会（東京）20（9－7、11－6）13 栃木教員
群馬教員 19（8－6、11－5）11 千葉ク
茨城教員 20（13－7、7－3）10 神奈川教員
▽準決勝
埼玉教員 27（12－4、15－3）7 群馬教員
茨城教員 16（5－9、11－4）13 桜友会
▽決勝
◎埼玉教員 33（20－8、13－2）10 茨城教員
▼高校男子1回戦
明星（東京）25（13－0、12－2）2 富岡（群馬）
佐原（千葉）9（2－3、7－4）7 浦和市立（埼玉）
麻生（茨城）22（11－4、11－3）7 横浜市南（神奈川）
塩山商（山梨）9（6－5、3－3）8 宇都宮工（栃木）
▽準決勝
麻生 26（14－3、12－1）4 佐原
明星 22（14－3、8－3）6 塩山商
▽決勝
◎明星 16（9－4、7－3）7 麻生
▼高校女子1回戦
前橋市女（群馬）8（4－4、4－2）6 平塚江南（神奈川）
浦和市立（埼玉）8（4－3、4－2）5 昭和学院（千葉）
桜水商（東京）10（7－7、3－2）9 山梨（山梨）
栃木女（栃木）8（3－4、5－2）6 水海道二（茨城）
▽準決勝
前橋市女 9（7－5、2－3）8 浦和市立
栃木女 10（6－1、4－0）1 桜水商
▽決勝
◎栃木女 11（7－1、4－4）5 前橋市女

◇中国予選（9月10－11日・米子市）
▼高校男子1回戦
矢掛（岡山）17（8－5、9－3）8 境（鳥取）
▽準決勝
矢掛 14（8－5、6－2）7 松江工（島根）
宇部工（山口）6（1－0、0－0、2－2、3－3）5 修道（広島）
▽決勝
◎宇部工 16（12－3、4－2）5 矢掛
▼高校女子1回戦
井原（岡山）14（8－1、6－1）2 境（鳥取）
▽準決勝
徳山（山口）7（2－0、2－0、2－1、1－2）3 井原
山陽女（広島）12（5－2、7－0）2 松江女（島根）
▽決勝
◎山陽女 10（5－6、5－2）8 徳山
▼教員（リーグ）
山口教員 29（14－1、15－1）2 島根教員
◎山口教員 16（10－3、6－0）3 岡山教員
岡山教員 28（18－8、10－2）10 島根教員
▼一般女子（2チーム）
◎全岡山 7（4－1、3－4）5 徳山ク
▼一般男子（2チーム）
菊松会（広島）徳山ク（山口）とも国体代表。

◇九州予選（9月10－11日・長崎大学コート）
▼一般男子1回戦
◎岡野愛球会（福岡）34（20－3、14－7）10 大村自衛隊（長崎）
◎熊本ク（熊本）39（21－8、18－8）16 鹿児島ク（鹿児島）
▽3位決定戦
◎鹿児島ク 37（18－7、19－4）11 大村自衛隊
▽決勝
熊本ク 25（13－10、12－9）19 岡野愛球会
▼一般女子
◎大洋デパート（熊本）のみ参加
▼教員1回戦
福岡教員 31（19－7、12－10）17 宮崎教員
熊本教員 38（21－10、17－3）13 長崎教員
▽決勝
◎熊本教員 20（12－3、8－7）9 福岡教員
▼高校男子1回戦
熊本市商（熊本）18（10－3、8－5）8 加治木工（鹿児島）
鹿町工（長崎）15（9－4、6－3）7 都城泉ケ丘（宮崎）
▽準決勝
熊本市商 17（11－11、6－5）16 香椎（福岡）
▽決勝
◎熊本市商 14（7－4、7－2）6 鹿町工
▼高校女子1回戦
加治木（鹿児島）15（8－0、7－3）3 都城泉ケ丘（宮崎）
▽準決勝
菊池農（熊本）13（9－4、4－2）6 佐世保商（長崎）
明善（福岡）18（10－1、8－3）4 加治木
▽決勝
◎菊池農 9（3－2、6－3）5 明善
〔注〕大分県は地元開催県のため各種目に出場。

◇四国予選（松山商大グラウンド）
▼高校男子1回戦
追手前（高知）12（5－4、7－3）7 高松一（香川）
▽決勝
新居浜工（愛媛）27（13－7、14－4）11 追手前
▼高校女子1回戦
三本松（香川）9（7－4、2－2）6 高知西（高知）
▽決勝
新居浜西（愛媛）13（7－4、6－2）6 三本松
▼一般男子リーグ
住友化学菊本（愛媛）25（12－7、13－9）16 高松一高OB（香川）
高松一高OB 32（17－6、15－6）12 高知ク（高知）
住友化学菊本 33（13－8、20－7）15 高知ク
〔順位〕①住友化学2勝②高松一高OB1勝1敗③高知ク2敗
▼一般女子決勝
高知西OG（高知）12（7－3、5－3）6 愛媛ク（愛媛）
▼教員決勝
香川教員（香川）24（16－5、8－6）11 愛媛教員（愛媛）

◇東海予選兼第18回東海選手権（9月10・11日 岡崎市）
女子は田村紡（三重）、愛知紡（愛知）、教員は岐阜がそれぞれ順当に代表と決まった。男子は4チームのリーグ戦で行ない、各チームとも1勝以上をあげることができぬ混戦の結果、1勝2分けの本田技研（三重）、1勝1敗1分けの清商ク（静岡）と常盤工業（岐阜）の3チームが代表となった。桜丘会（愛知）は1勝2敗で代表からもれたが、愛知代表が一般男子の部に出場できないのは国体始まっていらいのこと。

※　※　※

※　※　※

東京都協会だより

男子33、女子18校が参加
駒沢で中学校大会

第19回東京都中学校ハンドボール選手権大会は夏休みを利用し、8月25日から27日まで3日間、東京・駒沢第2球技場で男子33、女子18校が参加して開かれた。男女とも、きびきびしたプレーを展開し、男子は中央中（中野区）女は深川五中（江東区）が優勝した。

この大会に東京都協会から大会費用を補助した。

男子

▽1回戦
西宮中 13－8 国立二中

▽2回戦
深川四中 10－9 西宮中
宮前中 25－5 雪谷中
杉森中 10－6 国立一中
荏原二中 19－2 武蔵野一中
武蔵野三中 13－7 学芸大付
深川五中 13－9 世田谷工高付
府中一中 3－2 立川二中
中瀬中 不戦勝 芦花中
若林中 21－6 武蔵野四中
荏原一中 12－9 戸塚一中
中野一中 不戦勝 高井戸中
富士見丘中 7－6 奥沢中
八幡中 13－1 高円寺中
中央中 23－8 府中四中
駒沢中 13－7 国分寺一中
国分寺三中 16－6 神明中

▽3回戦
深川四中 22－8 宮前中
荏原二中 18－5 杉森中
深川五中 14－9 武蔵野三中
中瀬中 16－6 府中一中
荏原一中 12－7 若林中
富士見丘中 15－6 中野一中
中央中 14－6 八幡中
国分寺三中 18－9 駒沢中

▽準々決勝
深川四中 10－7 荏原二中
中瀬中 5－4 深川五中
富士見丘中 15－7 荏原一中
中央中 18－11 国分寺三中

▽準決勝
深川五中 11－4 中瀬中
中央中 13－8 富士見丘中

▽決勝
中央中 14－8 深川四中

【順位】①中央中②深川四中③中瀬中、富士見丘中

女子

▽1回戦
高円寺中 5－2 国立二中
杉森中 5－3 国立一中

▽2回戦
横山中 11－3 高円寺中
学芸大付 4－0 八幡中
戸塚一中 7－2 武蔵野一中
中瀬中 9－3 二亀中
国分寺一中 不戦勝 府中一中
八王子中 不戦勝 駒沢中
武蔵野四中 5－4 府中四中
深川五中 27－0 杉森中

▽準々決勝
横山中 6－2 学芸大付
戸塚一中 8－4 中瀬中
八王子中 8－2 国分寺一中
深川五中 29－1 武蔵野四中

▽準決勝
横山中 9－0 戸塚一中
深川五中 24－2 八王子中

▽決勝
深川五中 8－4 横山中

【順位】①深川五中②横山中③八王子中、戸塚一中

◇あとがき

男子33、女子18計51チームという多数の参加を得て、熱戦を展開した。都ハンドボール協会の絶大な援助でこの駒沢第二球技場を使用することができ、中体連役員、参加中学生は非常に喜んだ。とくに多摩地区からの参加チームは感激し、来年もぜひ駒沢にしてほしいといっているほどである。父兄の応援もあって、にぎやかであった。

男子は春の大会の決勝で対戦したチームが再び顔を合わせ、中野区中央中（指導・山之内英子先生＝旧姓国原）が深川区深川四中（指導・村山先生）を破って雪辱をとげた。女子は深川五中（指導・山野圭三先生）が圧倒的に強く、ダイナミックな攻撃で他を寄せつけず、春に続いて優勝した。

チームが増加するにつれ、力の差が大きくなることはしかがないが、効果的な練習と体力づくりでもう少し伸ばせないかと思う。とくに男子はディフェンスにくふうの要があり、女子は基本的な練習が不足のようであった。都協会の援助を感謝すると同時に、日本協会も底辺拡大の意味で、中学生のチームの振興、指導について、さらに一層の協力を望みます。

（都中体連ハンドボール部長　松田利秋）

国体都予選

◇第21回国体東京都予選（8月27日・駒沢）

▼一般男子1回戦（3チーム）
千代田印刷機 30（15－14、15－7）21 芝浦〃

▽同決勝
千代田印刷機 29（15－5、14－4）9 蜂山会

▼教員決勝（2チーム）
桜友会 33（16－12、17－6）18 桑朋会

慶大勝つ

◇第14回早大対慶大定期戦（9月11日・早大記念会堂）

▽高校
早大学院 20（11－1、9－1）2 慶応

▽OB
稲門〃 18（8－8、10－6）14 三田〃

▽現役
慶大 15（10－4、5－6）10 早大

通算成績は7勝7敗。

得	早大		慶大	得
0	尾形	GK	西川	0
0	綿貫	GK	山田	0
1	森田	FP	古村	0
3	水口	FP	花野	5
1	朝日	FP	石橋	4
0	伊藤	FP	安達	2
2	籏野	FP	田中	1
3	荻原	FP	小椋	3
0	森永	FP	米田	0
0	小島	FP	尾崎	0
0	鈴木	FP	峰村	0
10	（1）	7MT	（1）	15

地方だより

明星、栃木女が優勝

◇第12回関東高校選手権大会（7月22日―25日、神奈川県立工業高校グラウンド）

▼男子1回戦

土浦工（茨城） 20―10 甲府工（山梨）
川和（神奈川） 13―9 玉川（東京）
国学院栃木（栃木） 23―5 桐生工（群馬）
早大学院（東京） 15―11 朝霞（埼玉）
神代（東京） 16―11 塩山商（山梨）
浦和市立（埼玉） 24―13 横浜市南（神奈川）
水戸工（茨城） 29―11 鶴舞（千葉）
足利工（栃木） 11―10 富岡（群馬）
教大付属坂戸（埼玉） 16―10 宇都宮工（栃木）
中大付（東京） 28―4 前橋商（群馬）
関東学院（神奈川） 11―7 日川（山梨）
石岡一（茨城） 20―17 都二商（東京）
甘楽農（群馬） 25―9 佐原（千葉）
大宮（埼玉） 19―16 甲府南（山梨）

▽2回戦

明星（東京） 11―7 麻生（茨城）
県商工定（神奈川） 21―18 馬頭（栃木）
土浦工 14―8 川和
早大学院 12―10 国学院栃木
浦和市立 12―10 神代
足利工 16―10 水戸工
中大付 15―12 教大付坂戸
関東学院 12―9 石岡一
甘楽農 22―11 大宮
明星 25―8 県商工定

▽準々決勝

早大学院 15―8 土浦工
足利工 14―10 浦和市立
中大付 18―6 関東学院
明星 13―8 甘楽農

▽準決勝

早大学院 12（3―3、9―3）6 足利工
明星 21（7―3、14―5）8 中大付

▽3位決定戦

足利工 12（6―5、6―5）10 中大付

▽決勝

明星 20（9―2、11―1）3 早大学院

▼女子1回戦

栃木女（栃木） 16―4 府中（東京）
麻生（茨城） 6―4 深谷女（埼玉）
都二商（東京） 10―2 川崎市立（神奈川）
高崎市女（群馬） 14―8 日川（山梨）
昭和学院（千葉） 6―2 桐生女（群馬）
小山城南（栃木） 10―8 浦和市立（埼玉）
小平（東京） 7―4 平塚江南（神奈川）
石岡二（茨城） 8―2 山梨（山梨）
山梨一商（山梨） 15―2 佐原（千葉）
水海道二（茨城） 10―3 足利女（栃木）
横須賀大津（神奈川） 18―3 県高崎女（群馬）
桜水商（東京） 13―4 朝霞（埼玉）
八郷（茨城） 9―6 国学院栃木（栃木）
園芸（東京） 18―5 川和（神奈川）
熊谷商（埼玉） 15―7 佼成学園（東京）
前橋市女（群馬） 13―7 塩山商（山梨）

▽2回戦

栃木女 4―3 麻生
都二商 10―7 高崎市女
小山城南 7―5 昭和学院
小平 12―2 石岡二
水海道二 15―8 山梨一商
桜水商 12―6 横須賀大津
園芸 13―11 八郷
前橋市女 10―6 熊谷商

▽準々決勝

栃木女 7―4 都二商
小平 9―7 小山城南
桜水商 8―4 水海道二
前橋市女 9―6 園芸

▽準決勝

栃木女 9（2―1、7―4）5 小平
桜水商 12（4―1、8―6）7 前橋市女

▽3位決定戦

前橋市女 7（5―3、2―2）5 小平

▽決勝

栃木女 14（7―3、7―3）6 桜水商

気賀優勝

◇第14回静岡県高校総合体育大会（8月20、21日・富士高校）

▼男子1回戦

富士 23―8 清水東
沼津工 14―10 二俣
浜松南 15―9 三島南
清水商 20―10 静岡農
天竜 23―6 静清工
御殿場 17―7 静岡東
沼津東 21―9 吉原市商

▽準々決勝

天竜 31―9 沼津東
富士 24―13 沼津工
気賀 14―7 浜松南

清水商 14－8 御殿場
▽準決勝
気賀 16（9－3、7－4）7 富士
清水商 19（10－7、9－2）9 天竜
▽決勝
気賀 15（8－3、7－4）7 清水商
▼女子1回戦
沼津女 7－6 富士宮東
御殿場 9－7 藤枝西
▽準々決勝
清水西 10－7 清水商
吉原 14－3 御殿場
静岡城北 11－8 沼津女
浜松南 5－3 二俣
▽準決勝
静岡城北 17（6－4、11－0）4 清水西
吉原 13（7－2、6－2）4 浜松南
▽決勝
静岡城北 13（10－7、3－3）10 吉原

氷見クが6連勝

◇第19回富山県民体育大会ハンドボール競技（8月・小杉高）
▼一般男子準決勝
氷見ク 25－10 八尾ク
高岡商OB 20－10 呉羽自動車
▽同決勝
氷見ク 41（19－2、22－2）4 高岡商OB
氷見クラブは6年連続優勝
▼一般女子1回戦（3チーム）
高岡女OG 9－7 県富女OG
▽同決勝
高岡女OG 3（2－2、1－0）2 氷見ク
高岡女OGは初優勝
▼高校男子決勝
高岡商 13（5－2、8－4）6 小杉
▼高校女子決勝
有磯 12（5－0、7－2）2 県富山女
有磯高は3年連続優勝
▽中学男子決勝
岩瀬 23－2 志貫野
岩瀬中は初優勝

稲沢、4年ぶりの優勝

◇第19回愛知県高校選手権（8月・名古屋）
▼男子準決勝
名城大付 20－10 安城
桜台 15－2 松蔭
▽同3位決定戦
松蔭 12－7 安城
▽同決勝
桜台 16（5－2、11－6）8 名城大付
桜台は3年連続、11回目の優勝
【各校優勝回数】桜台11回、中京商5回、瑞陵2回、一宮1回
▽女子準決勝
半田 9－2 名女商
稲沢 11－6 蒲郡
▽同3位決定戦
蒲郡 11－10 名女商
▽同決勝
稲沢 10（5－0、5－3）3 半田
稲沢は4年ぶり、9回目の優勝
【各校優勝回数】稲沢9回、半田6回、一宮2回、瑞陵、岡崎市立各1回

岐阜は男女とも加納

◇第14回岐阜県高校総合体育大会ハンドボール競技（8月・岐阜）
▼男子決勝リーグ
岐阜西工 14－7 斐太実
加納 11－10 岐阜西工
加納 12－5 斐太実
【順位】①加納②岐阜西工③斐太実業
▼女子決勝リーグ
加納 4－1 益田
加納 2－1 大垣南
大垣南 10－0 益田
【順位】①加納②大垣南③益田

亀山中優勝

◇三重県中学校大会（女子のみ、8月4、5日・上野市緑ケ丘中）
▽1回戦
亀山 13－3 塩浜
南 19－7 名張
鈴峰 8－3 大安
中部 17－6 拓植
▽準決勝
亀山 15－14 南
中部 10－4 鈴峰
▽決勝
亀山 10（4－4、6－3）7 中部
なおレフェリーは入野章、服部一則、奥田嘉美、谷口克光。

宮城二女善戦

◇宮城県高校総合体育大会（6月・古川市祇園寺高）
▼男子1回戦
仙台一 31－5 宮城水産
古川 21－4 電子工
塩釜 23－11 東北学院
祇園寺 9－7 仙台
古川工 37－1 東北
▽準々決勝
仙台二 12－8 仙台一
古川 16－13 仙台商
祇園寺 8－7 塩釜
古川工 11－10 育英
▽準決勝
仙台二 20－9 古川
古川工 12－11 祇園寺
▽決勝
仙台二 10（6－3、4－3）6 古川工
▼女子1回戦
古川女 12－9 祇園寺
▽準決勝
涌谷 22－6 古川女
宮城二女 9－4 宮城三女
▽決勝
涌谷 12－4 宮城二女

編集後記

○…浦和の全日本総合選手権を見てびっくりしたのは、大崎電気（女子）の強さだった。昨年は一つもタイトルが取れなかったので、その意気たるや"ものすごい"ものがあった。人間努力すれば、思いどおりのことは達成できるという見本。その意味において大崎電気の男子は12月の全日本選抜選手権でがんばってもらいたい。

○…1972年のミュンヘン・オリンピックは7人制と決定した。開催国が西ドイツなので、東京オリンピックのバレーボールのように男子10、女子6チームになることを祈るのみ。西ドイツとしても女子をやりたいところだろう。日本としては、いまから男女とも準備にはいらないといけませんな。備えあれば憂いなし!!

○…学園だよりは好評のようだ。うれしい。なかには新聞記者が顔負けする軽いタッチの記事がある。いままでのところ、落合高（岡山）の学園だよりがピカ一。

○…日中第1戦を見学したが、なかなかの大入り。名古屋の第2戦は7、000人の観衆とか。うれしい話である。第3戦以後の朗報を期待している。（ふぐ）

フジカラーサービス

カラー写真ならもっときれい！

現像とカラープリントはお近くのカメラ店で
〈フジカラーサービス〉とご指定ください

フジカラーの純正現像

フジカラーN100
フジカラーR100
フジカラーシネ 8㎜・16㎜
トーキー映画（磁性体塗布加工）
フジマグネオストライプ
小型映画フィルムの複製
フジシネコピー

美しいカラープリント

フジネガカラープリント
フジポジカラープリント
フジダイカラープリント
フジ G カラープリント
フジネガカラースライド
フジポジカラースライド

フジカラーの綜合現像所

株式会社 フジカラーサービス

札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡

日本ハンドボール協会編
ハンドボール
第三十七号
昭和四十年六月　第三種郵便物認可
昭和四十一年九月二十五日印刷
昭和四十一年十月一日発行
発行所 日本ハンドボール協会
都渋谷区神南町二五
話大代表(467)三二一一
振替東京五八三四八番
編集兼発行人 高嶋冽
定価百五十円